白鳥台地区あたらしい学校教育推進協議会設置要項（案）

（設置）

第１　白鳥台地区の学校教育の方向性について、地域、保護者、学校が協議するため、白鳥台地区新しい学校教育推進協議会（以下「協議会」という。）を設置します。

（設置の経緯・目的）

第２　少子高齢化、社会情勢の変化等による児童生徒数の減少や地域間の偏在、いじめ、不登校など、本市の学校教育を取り巻く課題の解消に向け、「室蘭市これからの学校づくり検討委員会」（以下「検討委員会」という。）により検討を重ね、令和４年８月２４日に室蘭市の学校教育の方向性、学校の形に関して、白鳥台地区に義務教育学校の検討を進めると良い旨の報告書の提出があったことから、当該地区の新しい学校教育の考え方について、協議することを目的とします。

（協議事項）

第３　協議事項は第２で記載した「検討委員会」報告書の報告内容である「小学校と中学校がより強く連携した教育」及び、「家庭、地域が参画して学校とより強く連携した教育」を尊重し、市教委としても様々な考え方がある中で、義務教育学校の検討を進める方向を踏まえ、協議会は、教育委員会が示す次に関する事項について協議します。

(1)　白鳥台地区の学校教育に関する事項

(2)　白鳥台地区の学校の形に関する事項

（義務教育学校、現状維持（白蘭小・本室蘭中）、他地区の学校との統合（小中学校両方、小学校のみ、中学校のみ）について協議する。）

(3)　(2)で協議した学校の形についての具体的な内容に関する事項

(4)　その他白鳥台地区の学校教育に関する事項

２　協議会は、前項の協議に際し、可能な限り詳細な考え方を示すことを目指します。

（協議会の構成員）

第４　協議会の委員は、次の組織から教育委員会が選出した方々で構成します。

(1)　白鳥台地区連合町会、崎守町会、石川町会、陣屋町会

(2)　蘭北（白鳥台）地区青少年健全育成協議会

(3)　白蘭小学校、本室蘭中学校

(4)　白蘭小学校ＰＴＡ、本室蘭中学校ＰＴＡ

（会長・副会長）

第５　協議会に会長を置き、白鳥台連合町会を代表する委員のうち、上席者をもって充てることとします。

２　協議会に副会長を置き、蘭北（白鳥台）地区青少年健全育成協議会を代表する委員をもって充てることとします。

（任期等）

第６　委員の任期は、令和５年３月末までを基本とします。ただし、その期限までに第３の協議事項の方向性を示すことができない状況の場合には、任期は延長されるものとします。

２　委員は、会議に出席できないときは、その指名する者を代理として出席させることができるものとします。

３　委員は、任期の途中で交代することができるものとします。この場合において、第４各号に定める組織に所属する者と交代することを基本とします。

（会議等）

第７　協議会は、教育委員会が招集します。

２　協議会の会議の進行は、会長が行います。

３　会長が欠席等不在の時は、副会長は会議の進行を行います。

４　会議は、白蘭小学校又は本室蘭中学校のいずれかで開催します。

５　会議は、委員の過半数が出席しなければ開催しないものとします。この場合において、委員の代理出席は委員とみなします。

（事務処理）

第８　協議会の事務については、教育委員会事務局総務課及び学校教育課が行います。

（委任）

第９　この要項に定めるもののほか、協議会の運営に関し、必要な事項は教育長が定めます。

附　則

この要項は、令和４年１０月２０日から施行する。

白鳥台地区あたらしい学校教育推進協議会 委員（案）

令和４年１０月

分野	区分			氏名	備考 町会範囲：３役役職
まちづくり	地域町会 （６名）	白鳥台連町 3役役員 （4名）	白鳥台あかつき町会　会長	田村　博文	白鳥台４丁目：会長
			白鳥台みなみ町会　会長	児玉　智明	白鳥台２丁目：副会長
			崎守町会　会長	寺山　　聰	崎守町：副会長 崎守町会代表を兼務
			白鳥台木の実町会　会長	菅原　秀一	白鳥台１丁目：事務局長
		崎守町	崎守町会　会長　兼務		
		石川町 （1名）	石川町会　会長代行	宇田　正美	
		陣屋町 （1名）	陣屋町会　会長	花田　學	
社会福祉	室蘭市青少年健全育成推進協議会 （２名）	蘭北地区 （２名）	蘭北地区青少年健全育成推進協議会　会長	上西　武司	
			蘭北地区青少年健全育成推進協議会　副会長	櫻庭　悦子	
学校教育 （学校）	小学校関係者 （５名）	白蘭小学校 （５名）	学校長	本田　章	
			教　頭	佐藤　昌樹	
学校教育 （保護者）			PTA会長	池田　陽祐	
			PTA副会長	千葉　修平	
			PTA総務委員	山田　沙樹	
学校教育 （学校）	中学校関係者 （５名）	本室蘭中学校 （５名）	学校長	永堀　善之	
			教　頭	入村　貴行	
学校教育 （保護者）			PTA会長	新藤　史憲	
			PTA副会長	田中　健太	
			PTA副会長	内池　孝年	

委員計　１８ 名

事務局	教育長	伊藤　博明
	教育部長	坂口　淳
	教育部次長	西舘　武志
	指導班 教育指導参事	髙田　裕之
	指導班 指導主事	椎名　孝
	指導班 指導主事	棟方　伸吾
	総務課長補佐	船橋　晶
	学校教育課長	山口　尚子
	生涯学習課長	山﨑　美妃
	総務課 総務係長	土橋　健児
	総務課 総務係	菊地　優大
	総務課 総務係	松浦　香
	学校教育課 学務係長	松尾　綾美
	学校教育課 教職員係長	山本　教人

事務局計　１４ 名

「白鳥台地区あたらしい学校教育推進協議会」 開催計画案

協議会開催数	協議会での検討内容等
第1回 **R4年** **10月20日（木）**	1，協議会の目的、今後の計画と内容、その他の事項　確認 2，「これからの学校づくり検討委員会 報告書」等について室蘭市教育委員会から説明 3，質疑応答
住民説明会 R4年 11月〇日（〇）	1，「これからの学校づくり検討委員会 報告書」等について室蘭市教育委員会から説明 2，質疑応答
第2回 R4年 11月〇日（〇）	1，「第1回協議会への回答」 2，白鳥台地区の学校教育、学校の形に関する考え方の集約

第1回・第2回の検討委員会の内容を踏まえて、

第3・4・●回 R4年 12月・R5/1月・●月	「（協議題）これからの白鳥台地区の子どもたちにとって、望ましい学校教育、学校の形」について引き続き協議
第●回 R5年 3月末	**白鳥台地区の学校教育、学校の形に関する考え方の集約** ⇩ **協議会の解散**

これからの学校づくり検討委員会の報告書について

１　検討委員会の開催状況

「これからの学校づくり検討委員会」（以下「検討委員会」）は、令和３年１１月２６日（金）に第１回の会議が開催された後、まん延防止等重点措置による開催延期を経て、令和４年３月２４日（木）の第２回から令和４年８月４日（木）の第８回の最後の会議まで、４回のワークショップ形式での議論や、市教委の説明に対する意見交換のほか、令和４年５月２３日（月）の七飯町立大沼岳陽学校（義務教育学校）の視察など、活発な議論・検討が行われてきた。

２　検討委員会の検討経過

検討委員会では、児童生徒数の推移、現在の室蘭市の学校教育の課題、義務教育学校のメリット、適正配置のメリットなど、市教委からの説明に対する意見交換が行われたほか、ワークショップ形式では、課題解決に向けた学校教育の方向性を中心に議論を深めるとともに、小中一体となった教育、家庭・地域が参画して学校と一体となった教育の重要性などの協議が行われきた。

さらに、児童生徒が減少する地域における学校の形などについても検討が行われ、最終的に一定の方向性についての意見がまとまり、報告書が取りまとめられた。

３　検討委員会の報告書の概要

報告書では、経緯、本市の学校教育を取り巻く課題、開催内容等の次に、課題の解消に向けたこれからの学校教育の方向性、これからの学校の形について、児童生徒が減少する地域、児童生徒数が維持される地域、その他の考え方について、検討委員会での意見が記載された。

また、最後のまとめにおいては、これからの学校教育の方向性として、小中一体となった教育、家庭・地域が参画して学校と一体となった教育を進めることの重要性、児童生徒が減少する地域について、できるだけ早く市教委としての方針をまとめるべきとし、さらに白鳥台地区は、早急に検討を進めるべきとし、その他の地域についても、地域の意見を聞きながら市教委としての考え方を取りまとめるべき、との意見が記載された。

４　今後のスケジュール

・令和４年度中を目途に、白鳥台地区に「（仮称）白鳥台地区学校教育推進協議会」を立上げ、地区の学校、地域の意見を聞き、当該地区の学校の形についての市教委の方針を策定
・令和５年度中期を目途に、市教委として「これからの学校づくり指針」を策定し、学校の形について、地区ごとの柔軟性を持った方向性や、学校、地域と意見交換を実施していく時期などについて定める。
・「これからの学校づくり指針」に基づき、順次、地区ごとに「学校教育推進協議会」を立上げ、それぞれの地区の学校、地域の意見を聞き、学校の形についての市教委の方針を策定（令和９年度を目途に全ての地域の方針策定）
・地区ごとに策定した学校の形の方針に基づき、必要な学校整備を実施していく。

これからの学校づくり検討委員会　報告書

令和４年８月２４日

１　経　緯

平成１５年４月の東園小学校と大和小学校の統合による海陽小学校の新設でスタートした学校適正配置計画が、令和３年４月の天沢小学校の地球岬小学校への編入統合により終了したが、その間、室蘭市の児童生徒は約２，４００名減少し、適正配置計画で目指した１２学級以上を維持できない学校が増え、学校の小規模化が進む一方、児童生徒数が増加傾向の学校があるほか、現在の学校教育が抱える課題は多い。

そのような中、令和３年に改訂した室蘭市教育施策の大綱では「一人ひとりが夢を持ち、新しい時代に挑戦する力、生きる力を育む」という教育目標を掲げ、それらの実現に関して、どのような学校づくりを目指すべきなのか、を検討するため、新たに本検討委員会が設置され、これからの学校づくりについて、検討を重ねてきた。

２　本市の学校教育を取り巻く課題

本市の学校教育において、次のような課題があることを市教委からの説明により認識した。

（１）不登校児童生徒が全国平均より高い状況が続いている。
（２）いじめの認知件数は減少傾向であるが、いじめの発生が続いている。
（３）「自分には良いところがある」と回答する子どもが少ない。
（４）ふるさと室蘭に愛着をもつ子どもが少ない。
（５）学力が全国平均よりも低い傾向がある（特に算数、数学）
（６）小学校２校、中学校で６校が適正規模を維持できていない。また、今後、一部の地域を除き、更に厳しい状況になることが予想される。

３　これまでの検討委員会開催内容等

回数等	開催日／場所	検討項目等
第１回	令和３年１１月２６日（金） ／旭ヶ丘小学校	・市教委説明（これまでの経過、新たな課題等） ・意見交換
第２回	令和４年　３月２４日（木） ／桜蘭中学校	・市教委報告（不登校・いじめの状況等、小中一貫校視察） ・北海道教育庁胆振教育局教育支援課長講話 ・意見交換
第３回	令和４年　４月２７日（水） ／翔陽中学校	・意見交換（ワークショップ） テーマ１：「自分には良いところがある」と回答する子どもが少ない テーマ２：ふるさと室蘭に愛着を持つ子どもが少ない

回数等	開催日／場所	検討項目等
第４回	令和４年　５月１９日（木） ／海陽小学校	・意見交換（ワークショップ） テーマ３：不登校児童生徒が、全国に比べて多い テーマ４：いじめの発生が、今も続いている
先進校視察	令和４年　５月２３日（月） ／七飯町立大沼岳陽学校	・10：30 から 12：00 まで 授業参観及び構内見学、質疑応答等
第５回	令和４年　６月　２日（木） ／海陽小学校	・意見交換（ワークショップ） テーマ：第３回、第４回の協議を踏まえた、これからの室蘭市における学校教育の方法の協議・検討 ・検討委員報告（小中一貫校視察）
第６回	令和４年　６月３０日（木） ／海陽小学校	・市教委説明（第３回～第５回の協議内容を踏まえた、室蘭市のこれからの学校教育に求められるもの） ・意見交換
第７回	令和４年　７月１５日（金） ／海陽小学校	・意見交換（ワークショップ） テーマ：室蘭市のこれからの学校の形
第８回	令和４年　８月　４日（木） ／室蘭市役所	・市教委からの説明（報告書案について） ・意見交換（報告書案の検討）

４　課題の解消に向けたこれからの学校教育の方向性

学校教育の方向性について、多くの意見がある中で次のとおり意見をまとめた。

（１）課題解消に向けて次の２つの教育を目指すことが、室蘭市のこれからの学校教育の方向性として必要である。

ア　小学校と中学校がより強く連携した教育（一体となった教育）

イ　家庭､地域が参画して学校とより強く連携した教育(一体となった教育)

（２）上記の方向性を実現するためには、コミュニティ・スクールの設置や機能の活性化等による、室蘭市全体での小中９年間の一体となった教育を目指すことが必要である。

５　これからの学校の形

学校教育の方向性を踏まえ、これからの学校の形について、次の５つの考え方を踏まえて検討した。

（１）これまでの適正配置の考え方（適正規模１２～１８学級）

（２）新しい学校の考え方（義務教育学校など）

（３）現状維持の考え方（今の学校数、形態のまま教育を進める）

（４）１つの考え方に縛られずに、地域の実情等に合わせた柔軟な考え方（ハイブリッドな考え方）

（５）その他の考え方（校区の変更、校区を無くすなど）

６　児童生徒が減少する地域

児童生徒が減少する地域については、その他の地域と比べて子どもたちの教育環境の整備を急ぐことが必要と考えられ、地域ごとに次のような考え方がある。

（１）白鳥台地区　この地域は、特に児童生徒が減少している地域であり、さらに、他の地域からの距離を考えた場合、これまでの「適正配置」の考え方ではなく、本室蘭中学校と白蘭小学校を１つにした、新たな考え方の「義務教育学校」の検討を進めると良いと考えられる。

また、室蘭市の小中一体となった教育を推進するため、他の地域よりも子どもの減少が進むこの地域で、室蘭市のモデル校として、いち早く取組むことも考えられる。

（２）蘭中・蘭西地区　この地域も児童生徒が減少しており、地区ごとに小中一体となった、新たな考え方の「義務教育学校」の検討をする考え方もあるが、これまでの「学校適正配置」の考え方により、一定期間、小学校で適正規模、中学校でも一定の規模が維持できることや、新設後間もない校舎があることなども踏まえ、更に検討をしていくと良いと考えられる。

（３）港北地区　この地域も児童生徒が減少しており、将来的には、新たな考え方の「義務教育学校」の形も想定されるが、蘭北小学校で一定の規模が維持できる期間があるほか、他の地域の宅地造成の動向等も想定しつつ、更に検討をしていくと良いと考えられる。

７　児童生徒数が維持される地域

当面、児童生徒数が微増、維持される地域である、桜蘭中学校区（旭ヶ丘小、八丁平小）、東明中学校区（天神小）、翔陽中学校区（海陽小）については、中学校区ごとのコミュニティ・スクールを設置・活性化させて、小中一体となった教育、家庭・地域が参画して学校と一体となった教育を進めていくと良いと考えられる。

将来的には、これらの地域についても、児童生徒数の推移、校舎の老朽化などを踏まえ、新しい「義務教育学校」、これまでの「学校適正配置」の考え方など、状況に応じたより良い教育環境の検討が必要と考える。

８　その他の考え方

（１）不登校、いじめなどへの対応の考え方として、不登校となった子どもなど、今の学校に通学することが苦しい、辛いと感じている子どもの居場所として、あるいは、室蘭の学校で再スタートする場所として、校区にとらわれない学校、選択できる学校があっても良いとの意見があった。

（２）現在、特認校は喜門岱小学校のみであり、中学校は居住地校区の学校に進学するしかないため、中学校に馴染めずに不登校となることも想定されることから、中学生が通学できる特認校があった方が良いとの意見があった。

９　まとめ

室蘭市のこれからの学校教育の方向性として、「小中一体となった教育（小学校と中学校がより強く連携した教育＝小中一貫教育）」と、「家庭・地域が参画し

て学校と一体となった教育(家庭、地域が参画して学校とより強く連携した教育)」を進めることが必要で、そのためにはコミュニティ・スクールを活性化することが重要と考える。

児童生徒が減少する地域については、できるだけ早く、市教委としての方針を取りまとめることが重要と考える。

特に、白鳥台地区は、児童生徒の減少が他の地域よりも顕著であり、さらに、前述した「義務教育学校」の検討を進めること等により、これまでと違った子どもたちのための教育環境の整備に繋がると考えることから、早急に検討を進めるべきと考える。

その他の地域についても、児童生徒数の推移等を見据え、地域の意見を聞きながら、市教委としての考え方をとりまとめ、将来的にモデル校等の状況に対応できる柔軟性をもった方向性を検討すべきと考えられる。

これまで８回に渡り開催してきた「室蘭市これからの学校づくり検討委員会」においては、室蘭市における学校教育の課題の解決に向けた、これからの学校教育の方向性について、ワークショップや視察などを通じて、地域、保護者、学校、スポーツ、社会教育、青少年健全育成、学識経験など、様々な分野の委員の意見を取りまとめたものである。

「室蘭市これからの学校づくり検討委員会」に参加した委員名（敬称略）

若佐 誠（室蘭市ＰＴＡ連合会会長）、**池田 陽祐**※1（室蘭市ＰＴＡ連合会（白蘭小））、**長利 利恵**（室蘭市ＰＴＡ連合会（地球岬小））、**佐野 かおり**（室蘭市私立幼稚園ＰＴＡ連合会会長）、**秦 将人**（室蘭市立桜蘭中学校校長）、**高橋 泰明**（室蘭市立東明中学校校長）、**大須賀 圭**（室蘭市立海陽小学校校長）、**鷲津 和司**（スクール児童館運営事業者）、**齋藤 宏**（同左）、**森川 卓也**（室蘭市町内会連合会副会長）、**田村 博文**（室蘭市町内会連合会常任理事）、**菊地 明**（室蘭市青少年健全育成推進協議会会長）、**中村 恭子**（室蘭市青少年健全育成推進協議会事務局長）、**石井 裕子**（室蘭市社会教育委員の会委員）、**加地 明**※2（一般財団法人室蘭市スポーツ協会事務局次長）、**山田 一正**（室蘭商工会議所専務理事）、**真境名 達哉**（室蘭工業大学准教授）、**今泉 勁介**（学校づくり有識者）、**伊藤 博明**※3（室蘭市教育委員会教育長）

※１）第４回より、金丸 陽子（室蘭市ＰＴＡ連合会（白蘭小））から池田 陽祐（同左）へ交代

※２）第７回より、大平 朋美（一般財団法人室蘭市スポーツ協会課長）から加地 明（同協会事務局次長）へ交代

※３）第３回より、國枝 信（室蘭市教育委員会教育長）から伊藤 博明（同左）へ交代

令和４年度　小中学校児童・生徒数の推計

（宅地開発等の影響を加味）

※１　児童・生徒数及び学級数について、令和４年度まではそれぞれ５月１日現在の確定値とし、令和５年以降は令和４年５月１日時点での推計値とした。

※２　令和５年以降の小学１年生は、住民基本台帳の６歳～１歳の数値に宅地開発等の影響を加味した。また、２～６年生、及び中学１～３年生は、前年度の児童・生徒数の数値をスライドした。

※３　１学級の児童・生徒数

小学１年生　：　３５人
小学２年生　：　３５人
小学３年生　：　３５人
小学４年生　：　令和３年度まで　４０人、　　令和４年度以降　３５人
小学５年生　：　令和４年度まで　４０人、　　令和５年度以降　３５人
小学６年生　：　令和５年度まで　４０人、　　令和６年度以降　３５人
中学１年生　：　３５人　又は　４０人
（７０人以上の場合のみ３５人。道の少人数学級実践研究事業による）
中学２年生　：　４０人
中学３年生　：　４０人

小学生の３５人学級は、道の少人数学級実践研究事業により、国より１年早く実施
中学生の３５人学級は、国で検討しているが実施時期は未定

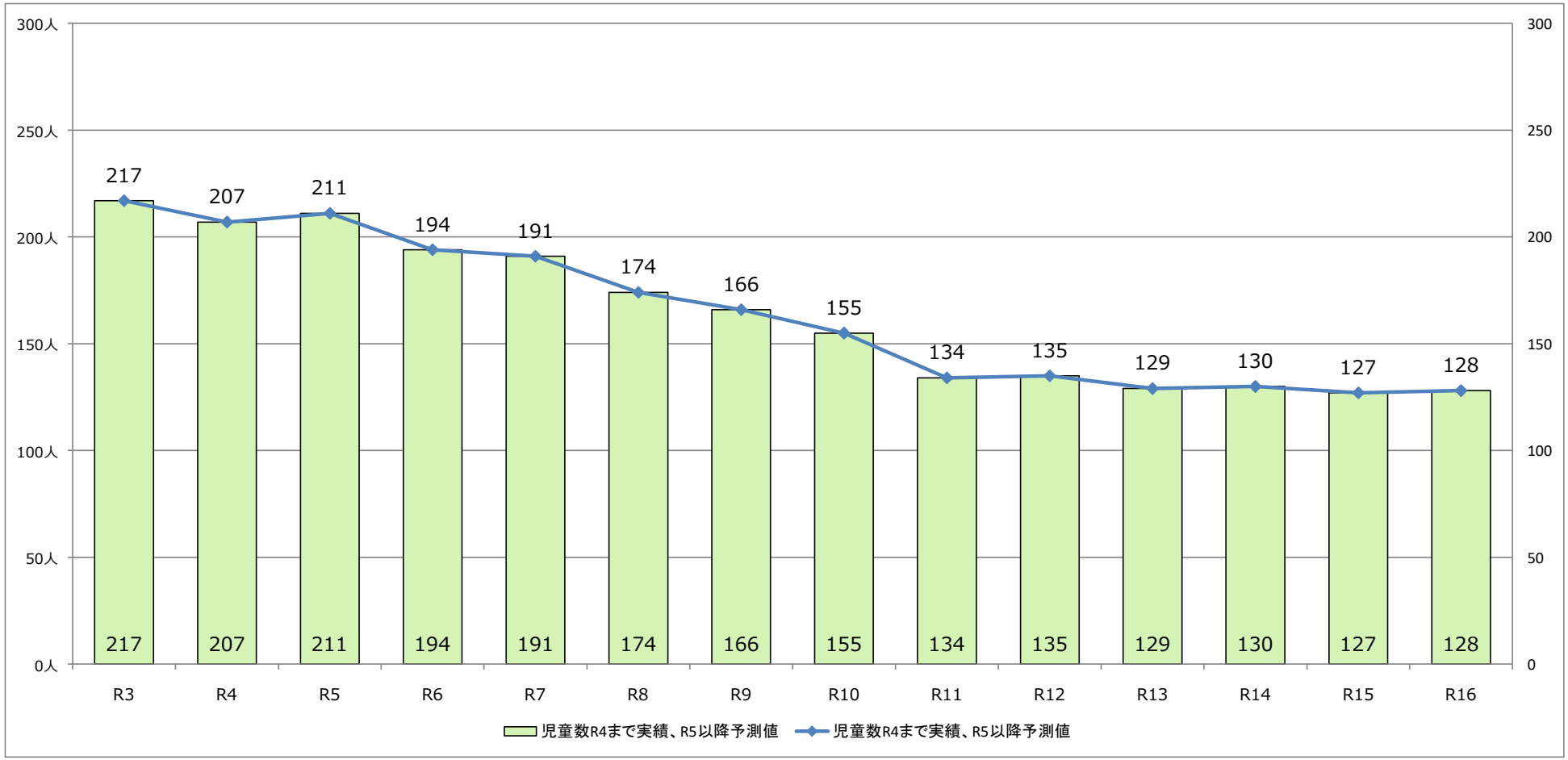
令和４年６月　室蘭市教育委員会作成
（住民基本台帳　R4．5．１現在）

みなと小（H27．4開校）

R3.5	R3			R4			R5			R6			R7			R8			R9			R10			R11			R12			R13			R14			R15			R16		
	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR
1年	69	3	2	70	4	2	73		3	74		3	49		2	56		2	48		2	51		2	60		2	59		2	58		2	56		2	55		2	54		2
2年	63	6	2	65	3	2	70	4	2	73		3	74		3	49		2	56		2	48		2	51		2	60		2	59		2	58		2	56		2	55		2
3年	80	3	3	67	5	2	65	3	2	70	4	2	73		3	74		3	49		2	56		2	48		2	51		2	60		2	59		2	58		2	56		2
4年	69	2	2	80	4	3	67	5	2	65	3	2	70	4	2	73		3	74		3	49		2	56		2	48		2	51		2	60		2	59		2	58		2
5年	80	5	3	71	2	2	80	4	3	67	5	2	65	3	2	70	4	2	73		3	74		3	49		2	56		2	48		2	51		2	60		2	59		2
6年	72	4	2	79	5	2	71	2	2	80	4	3	67	5	2	65	3	2	70	4	2	73		3	74		3	49		2	56		2	48		2	51		2	60		2
小計	433	23	14	432	23	13	426	18	14	429	16	15	398	12	14	387	7	14	370	4	14	351	0	14	338	0	13	323	0	12	332	0	12	332	0	12	339	0	12	342	0	12
合計	456		(5)	455		(5)	444		(5)	445		(5)	410		(5)	394		(5)	374		(5)	351		(5)	338		(5)	323		(5)	332		(5)	332		(5)	339		(5)	342		(5)

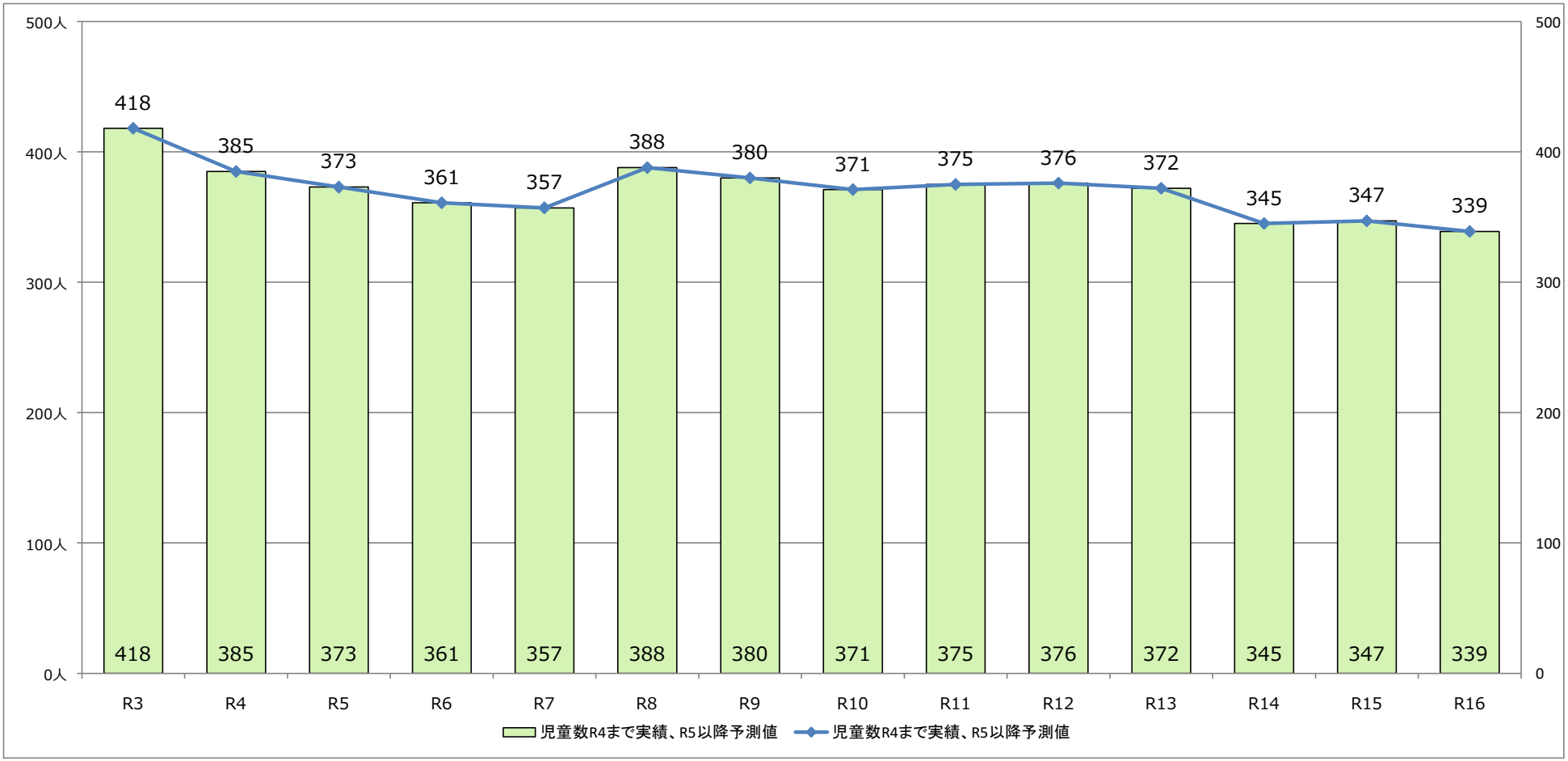
地球岬小（H19．4開校、R3.4天沢統合）

R3.5	R3			R4			R5			R6			R7			R8			R9			R10			R11			R12			R13			R14			R15			R16		
	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR
1年	27	1	1	26	4	1	44		2	21		1	28		1	20		1	23		1	19		1	23		1	22		1	22		1	21		1	20		1	20		1
2年	35	3	1	29	2	1	26	4	1	44		2	21		1	28		1	20		1	23		1	19		1	23		1	22		1	22		1	21		1	20		1
3年	29	3	1	35	2	1	29	2	1	26	4	1	44		2	21		1	28		1	20		1	23		1	19		1	23		1	22		1	22		1	21		1
4年	34	3	1	28	3	1	35	2	1	29	2	1	26	4	1	44		2	21		1	28		1	20		1	23		1	19		1	23		1	22		1	22		1
5年	37	2	1	34	4	1	28	3	1	35	2	1	29	2	1	26	4	1	44		2	21		1	28		1	20		1	23		1	19		1	23		1	22		1
6年	40	3	1	38	2	1	34	4	1	28	3	1	35	2	1	29	2	1	26	4	1	44		2	21		1	28		1	20		1	23		1	19		1	23		1
小計	202	15	6	190	17	6	196	15	7	183	11	7	183	8	7	168	6	7	162	4	7	155	0	7	134	0	6	135	0	6	129	0	6	130	0	6	127	0	6	128	0	6
合計	217		【3】	207		【3】	211		【3】	194		【3】	191		【3】	174		【3】	166		【3】	155		【3】	134		【3】	135		【3】	129		【3】	130		【3】	127		【3】	128		【3】



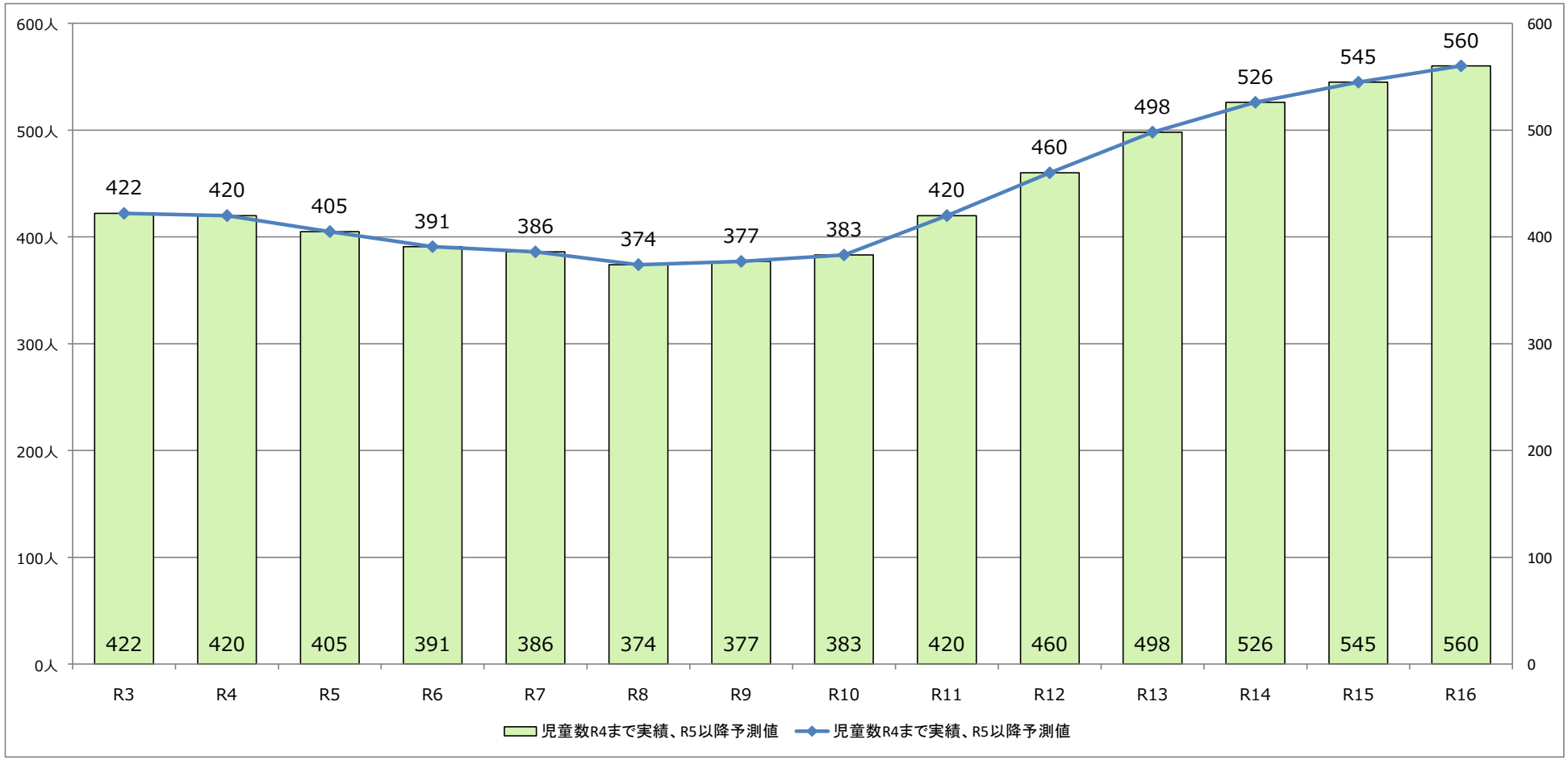
海陽小（H15．4開校、R2.4大沢統合）

R3.5	R3			R4			R5			R6			R7			R8			R9			R10			R11			R12			R13			R14			R15			R16		
	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR
1年	59	4	2	63	6	2	57		2	58		2	62		2	82		3	52		2	60		2	61		2	59		2	58		2	55		2	54		2	52		2
2年	53	3	2	56	4	2	63	6	2	57		2	58		2	62		2	82		3	52		2	60		2	61		2	59		2	58		2	55		2	54		2
3年	68	4	2	48	3	2	56	4	2	63	6	2	57		2	58		2	62		2	82		3	52		2	60		2	61		2	59		2	58		2	55		2
4年	66	6	2	64	2	2	48	3	2	56	4	2	63	6	2	57		2	58		2	62		2	82		3	52		2	60		2	61		2	59		2	58		2
5年	67	1	2	66	4	2	64	2	2	48	3	2	56	4	2	63	6	2	57		2	58		2	62		2	82		3	52		2	60		2	61		2	59		2
6年	80	7	3	67	2	2	66	4	2	64	2	2	48	3	2	56	4	2	63	6	2	57		2	58		2	62		2	82		3	52		2	60		2	61		2
小計	393	25	13	364	21	12	354	19	12	346	15	12	344	13	12	378	10	13	374	6	13	371	0	13	375	0	13	376	0	13	372	0	13	345	0	12	347	0	12	339	0	12
合計	418		(5)	385		(5)	373		(5)	361		(5)	357		(5)	388		(5)	380		(5)	371		(5)	375		(5)	376		(5)	372		(5)	345		(5)	347		(5)	339		(5)



天神小（R2．4開校）

R3.5	R3			R4			R5			R6			R7			R8			R9			R10			R11			R12			R13			R14			R15			R16		
	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR
1年	61	6	2	63	3	2	53		2	59		2	62		2	67		2	70		2	72		3	90		3	99		3	100		3	95		3	89		3	87		3
2年	78	4	3	60	7	2	63	3	2	53		2	59		2	62		2	67		2	70		2	72		3	90		3	99		3	100		3	95		3	89		3
3年	61	4	2	73	6	3	60	7	2	63	3	2	53		2	59		2	62		2	67		2	70		2	72		3	90		3	99		3	100		3	95		3
4年	72	2	2	63	4	2	73	6	3	60	7	2	63	3	2	53		2	59		2	62		2	67		2	70		2	72		3	90		3	99		3	100		3
5年	64	3	2	70	3	2	63	4	2	73	6	3	60	7	2	63	3	2	53		2	59		2	62		2	67		2	70		2	72		3	90		3	99		3
6年	66	1	2	65	3	2	70	3	2	63	4	2	73	6	3	60	7	2	63	3	2	53		2	59		2	62		2	67		2	70		2	72		3	90		3
小計	402	20	13	394	26	13	382	23	13	371	20	13	370	16	13	364	10	12	374	3	12	383	0	13	420	0	14	460	0	15	498	0	16	526	0	17	545	0	18	560	0	18
合計	422		(3)	420		(5)	405		(5)	391		(5)	386		(5)	374		(5)	377		(5)	383		(5)	420		(5)	460		(5)	498		(5)	526		(5)	545		(5)	560		(5)



旭ヶ丘小（H22．4開校、R2.4知利別統合）

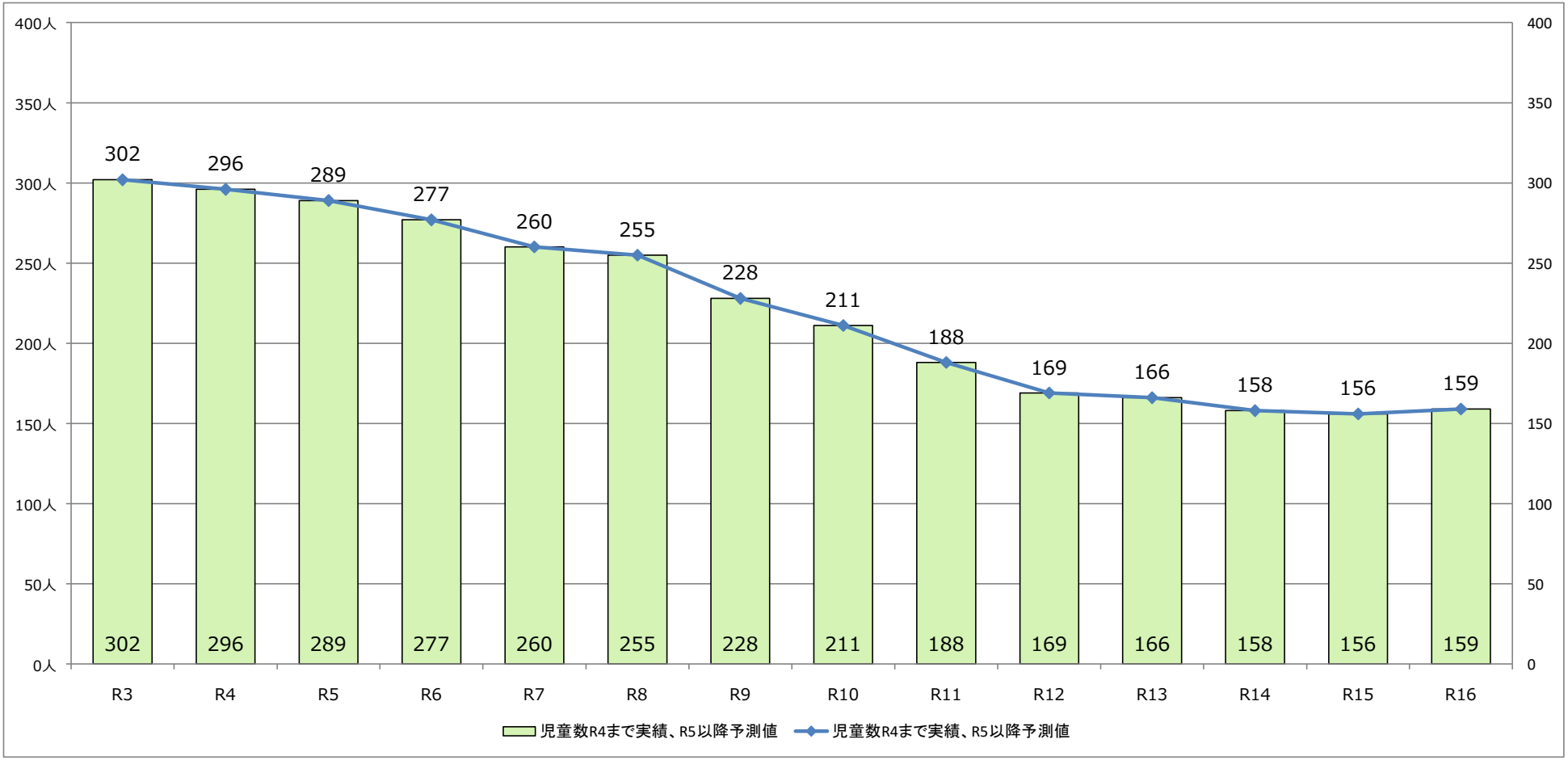
R3.5	R3			R4			R5			R6			R7			R8			R9			R10			R11			R12			R13			R14			R15			R16		
	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR
1年	87	3	3	73	7	3	99		3	81		3	84		3	99		3	88		3	87		3	93		3	96		3	91		3	88		3	86		3	82		3
2年	75	4	3	86	3	3	73	7	3	99		3	81		3	84		3	99		3	88		3	87		3	93		3	96		3	91		3	88		3	86		3
3年	94	6	3	73	4	3	86	3	3	73	7	3	99		3	81		3	84		3	99		3	88		3	87		3	93		3	96		3	91		3	88		3
4年	89	3	3	97	7	3	73	4	3	86	3	3	73	7	3	99		3	81		3	84		3	99		3	88		3	87		3	93		3	96		3	91		3
5年	98	6	3	88	3	3	97	7	3	73	4	3	86	3	3	73	7	3	99		3	81		3	84		3	99		3	88		3	87		3	93		3	96		3
6年	83	7	3	93	6	3	88	3	3	97	7	3	73	4	3	86	3	3	73	7	3	99		3	81		3	84		3	99		3	88		3	87		3	93		3
小計	526	29	18	510	30	18	516	24	18	509	21	18	496	14	18	522	10	18	524	7	18	538	0	18	532	0	18	547	0	18	554	0	18	543	0	18	541	0	18	536	0	18
合計	555		(5)	540		(6)	540		(6)	530		(6)	510		(6)	532		(6)	531		(6)	538		(6)	532		(6)	547		(6)	554		(6)	543		(6)	541		(6)	536		(6)

八丁平小（H9．4開校）

R3.5	R3			R4			R5			R6			R7			R8			R9			R10			R11			R12			R13			R14			R15			R16		
	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR
1年	84	2	3	93	5	3	100		3	108		4	112		4	95		3	119		4	104		3	98		3	99		3	95		3	92		3	82		3	75		3
2年	100	5	3	83	3	3	93	5	3	100		3	108		4	112		4	95		3	119		4	104		3	98		3	99		3	95		3	92		3	82		3
3年	104	2	3	99	5	3	83	3	3	93	5	3	100		3	108		4	112		4	95		3	119		4	104		3	98		3	99		3	95		3	92		3
4年	113	5	3	103	2	3	99	5	3	83	3	3	93	5	3	100		3	108		4	112		4	95		3	119		4	104		3	98		3	99		3	95		3
5年	81	7	3	112	6	3	103	2	3	99	5	3	83	3	3	93	5	3	100		3	108		4	112		4	95		3	119		4	104		3	98		3	99		3
6年	88	5	3	80	6	3	112	6	3	103	2	3	99	5	3	83	3	3	93	5	3	100		3	108		4	112		4	95		3	119		4	104		3	98		3
小計	570	26	18	570	27	18	590	21	18	586	15	19	595	13	20	591	8	20	627	5	21	638	0	21	636	0	21	627	0	20	610	0	19	607	0	19	570	0	18	541	0	18
合計	596		(5)	597		(6)	611		(6)	601		(6)	608		(6)	599		(6)	632		(6)	638		(6)	636		(6)	627		(6)	610		(6)	607		(6)	570		(6)	541		(6)

蘭北小（H28．4開校）

R3.5	R3			R4			R5			R6			R7			R8			R9			R10			R11			R12			R13			R14			R15			R16		
	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR
1年	52	2	2	38	1	2	51		2	46		2	30		1	34		1	28		1	22		1	28		1	27		1	27		1	26		1	26		1	25		1
2年	35	3	2	53	2	2	38	1	2	51		2	46		2	30		1	34		1	28		1	22		1	28		1	27		1	27		1	26		1	26		1
3年	42	4	2	35	4	1	53	2	2	38	1	2	51		2	46		2	30		1	34		1	28		1	22		1	28		1	27		1	27		1	26		1
4年	57	3	2	44	3	2	35	4	1	53	2	2	38	1	2	51		2	46		2	30		1	34		1	28		1	22		1	28		1	27		1	27		1
5年	57	1	2	55	3	2	44	3	2	35	4	1	53	2	2	38	1	2	51		2	46		2	30		1	34		1	28		1	22		1	28		1	27		1
6年	44	2	2	57	1	2	55	3	2	44	3	2	35	4	1	53	2	2	38	1	2	51		2	46		2	30		1	34		1	28		1	22		1	28		1
小計	287	15	12	282	14	11	276	13	11	267	10	11	253	7	10	252	3	10	227	1	9	211	0	8	188	0	7	169	0	6	166	0	6	158	0	6	156	0	6	159	0	6
合計	302		【4】	296		【3】	289		【3】	277		【3】	260		【3】	255		【3】	228		【3】	211		【3】	188		【3】	169		【3】	166		【3】	158		【3】	156		【3】	159		【3】



白蘭小（H30．4開校）

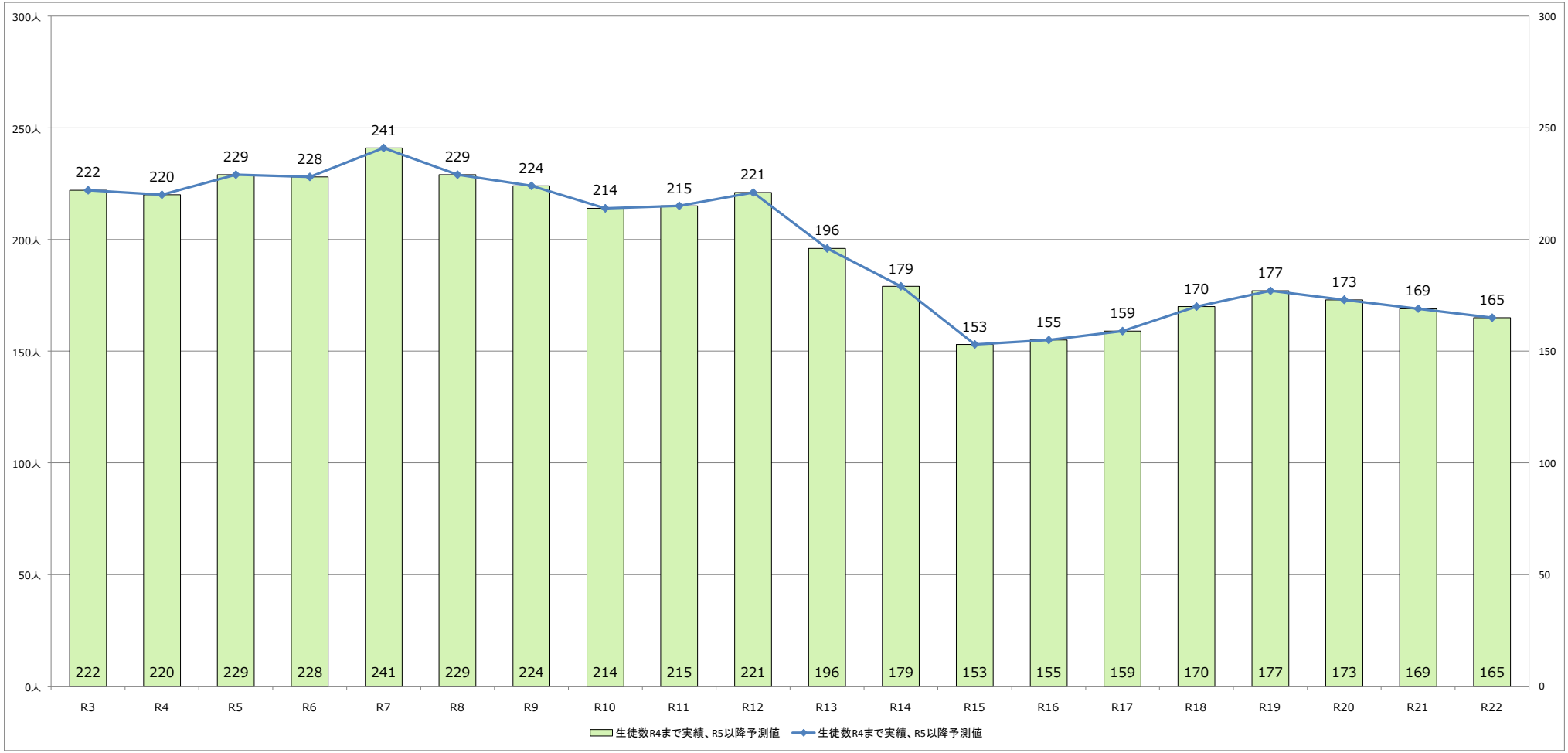
R3.5	R3			R4			R5			R6			R7			R8			R9			R10			R11			R12			R13			R14			R15			R16		
	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR
1年	18	2	1	30	3	1	12		1	20		1	18		1	17		1	14		1	13		1	16		1	16		1	16		1	15		1	15		1	15		1
2年	22	4	1	19	2	1	30	3	1	12		1	20		1	18		1	17		1	14		1	13		1	16		1	16		1	16		1	15		1	15		1
3年	30	4	1	21	4	1	19	2	1	30	3	1	12		1	20		1	18		1	17		1	14		1	13		1	16		1	16		1	16		1	15		1
4年	24	7	1	29	4	1	21	4	1	19	2	1	30	3	1	12		1	20		1	18		1	17		1	14		1	13		1	16		1	16		1	16		1
5年	27	2	1	26	6	1	29	4	1	21	4	1	19	2	1	30	3	1	12		1	20		1	18		1	17		1	14		1	13		1	16		1	16		1
6年	30	6	1	28	2	1	26	6	1	29	4	1	21	4	1	19	2	1	30	3	1	12		1	20		1	18		1	17		1	14		1	13		1	16		1
小計	151	25	6	153	21	6	137	19	6	131	13	6	120	9	6	116	5	6	111	3	6	94	0	6	98	0	6	94	0	6	92	0	6	90	0	6	91	0	6	93	0	6
合計	176		【7】	174		【4】	156		【4】	144		【4】	129		【4】	121		【4】	114		【4】	94		【4】	98		【4】	94		【4】	92		【4】	90		【4】	91		【4】	93		【4】

室蘭西中（H25．4開校）

R4.5	R3			R4			R5			R6			R7			R8			R9			R10			R11			R12			R13			R14			R15			R16			R17			R18			R19			R20			R21			R22		
	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR
1年	72	3	3	67	4	2	79	5	3	71	2	3	80	4	3	67	5	2	65	3	2	70	4	2	73		3	74		3	49		2	56		2	48		2	51		2	60		2	59		2	58		2	56		2	55		2	54		2
2年	71	3	2	69	5	2	67	4	2	79	5	2	71	2	2	80	4	2	67	5	2	65	3	2	70	4	2	73		2	74		2	49		2	56		2	48		2	51		2	60		2	59		2	58		2	56		2	55		2
3年	73	0	2	72	3	2	69	5	2	67	4	2	79	5	2	71	2	2	80	4	2	67	5	2	65	3	2	70	4	2	73		2	74		2	49		2	56		2	48		2	51		2	60		2	59		2	58		2	56		2
小計	216	6	7	208	12	6	215	14	7	217	11	7	230	11	7	218	11	6	212	12	6	202	12	6	208	7	7	217	4	7	196	0	6	179	0	6	153	0	6	155	0	6	159	0	6	170	0	6	177	0	6	173	0	6	169	0	6	165	0	6
合計	222	【2】		220	【2】		229	【2】		228	【2】		241	【2】		229	【2】		224	【2】		214	【2】		215	【2】		221	【2】		196	【2】		179	【2】		153	【2】		155	【2】		159	【2】		170	【2】		177	【2】		173	【2】		169	【2】		165	【2】	

仮にR7に2年生、R8に3年生まで35人学級が拡大された場合の学級数→→→

	80	4	3	67	5	2	65	3	2	70	4	2	73		3	74		3	49		2	56		2	48		2	51		2	60	0	2	59	0	2	58	0	2	56	0	2	55	0	2	54	0	2
	71	2	3	80	4	3	67	5	2	65	3	2	70	4	2	73		3	74		3	49		2	56		2	48		2	51		2	60		2	59		2	58		2	56		2	55		2
	79	5	2	71	2	3	80	4	3	67	5	2	65	3	2	70	4	2	73		3	74		3	49		2	56		2	48		2	51		2	60		2	59		2	58		2	56		2
			8			8			7			6			7			8			8			7			6			6			6			6			6			6			6			6

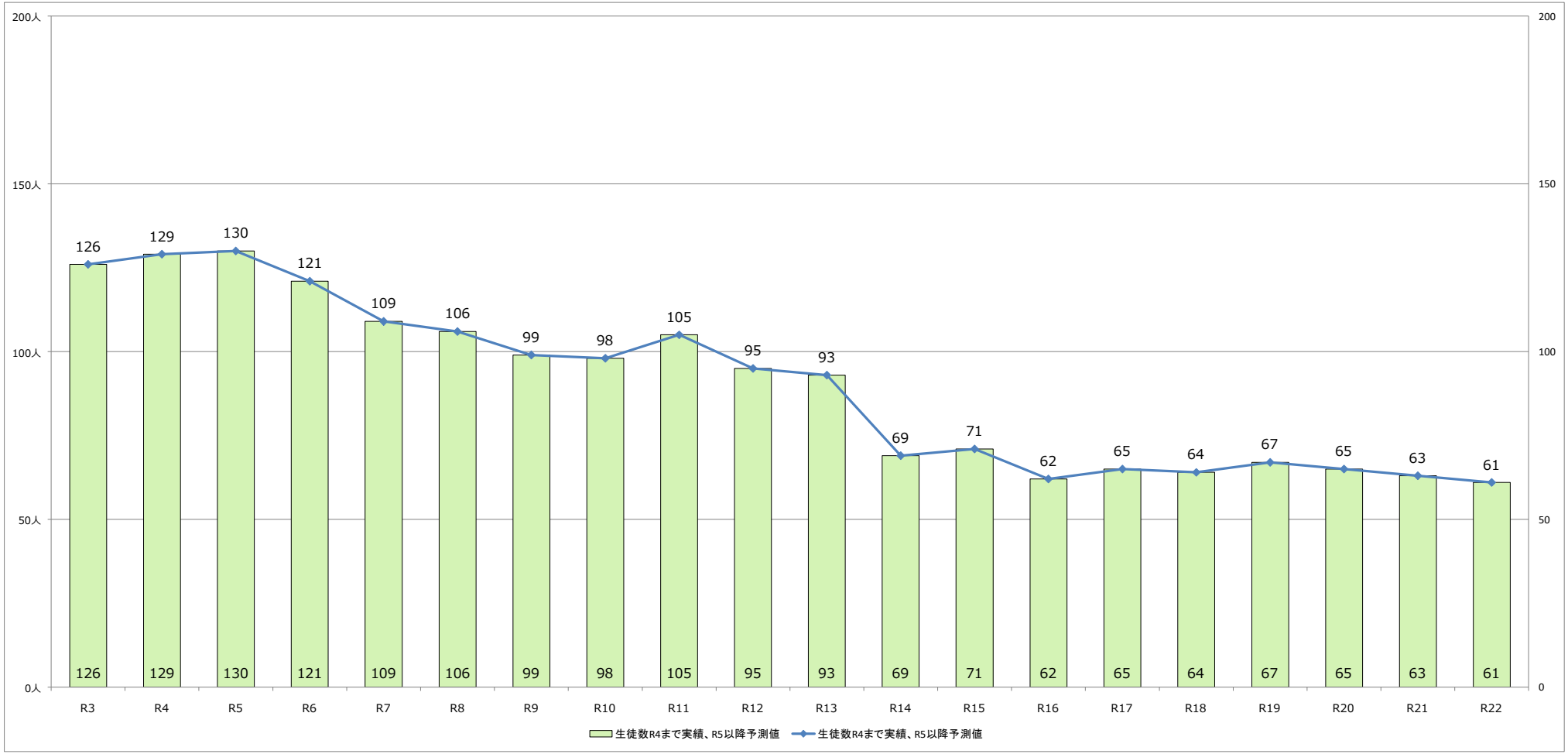


星蘭中（H18．4開校）

R4.5	R3			R4			R5			R6			R7			R8			R9			R10			R11			R12			R13			R14			R15			R16			R17			R18			R19			R20			R21			R22		
	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR
1年	43	4	2	39	4	1	38	2	1	34	4	1	28	3	1	35	2	1	29	2	1	26	4	1	44		2	21		1	28		1	20		1	23		1	19		1	23		1	22		1	22		1	21		1	20		1	20		1
2年	33	6	1	43	4	2	39	4	1	38	2	1	34	4	1	28	3	1	35	2	1	29	2	1	26	4	1	44		2	21		1	28		1	20		1	23		1	19		1	23		1	22		1	22		1	21		1	20		1
3年	38	2	1	33	6	1	43	4	2	39	4	1	38	2	1	34	4	1	28	3	1	35	2	1	29	2	1	26	4	1	44		2	21		1	28		1	20		1	23		1	19		1	23		1	22		1	22		1	21		1
小計	114	12	4	115	14	4	120	10	4	111	10	3	100	9	3	97	9	3	92	7	3	90	8	3	99	6	4	91	4	4	93	0	4	69	0	3	71	0	3	62	0	3	65	0	3	64	0	3	67	0	3	65	0	3	63	0	3	61	0	3
合計	126		【3】	129		【3】	130		【3】	121		【3】	109		【3】	106		【3】	99		【3】	98		【3】	105		【3】	95		【3】	93		【3】	69		【3】	71		【3】	62		【3】	65		【3】	64		【3】	67		【3】	65		【3】	63		【3】	61		【3】

仮にR7に2年生、R8に3年生まで35人学級が拡大された場合の学級数→→→

	28	3	1	35	2	1	29	2	1	26	4	1	44		2	21		1	28		1	20		1	23		1	19		1	23	0	1	22	0	1	22	0	1	21	0	1	20	0	1	20	0	1
	34	4	1	28	3	1	35	2	1	29	2	1	26	4	1	44		2	21		1	28		1	20		1	23		1	19		1	23		1	22		1	22		1	21		1	20		1
	38	2	1	34	4	1	28	3	1	35	2	1	29	2	1	26	4	1	44		2	21		1	28		1	20		1	23		1	19		1	23		1	22		1	22		1	21		1	21		1
			3			3			3			3			4			4			4			3			3			3			3			3			3			3			3			3			3

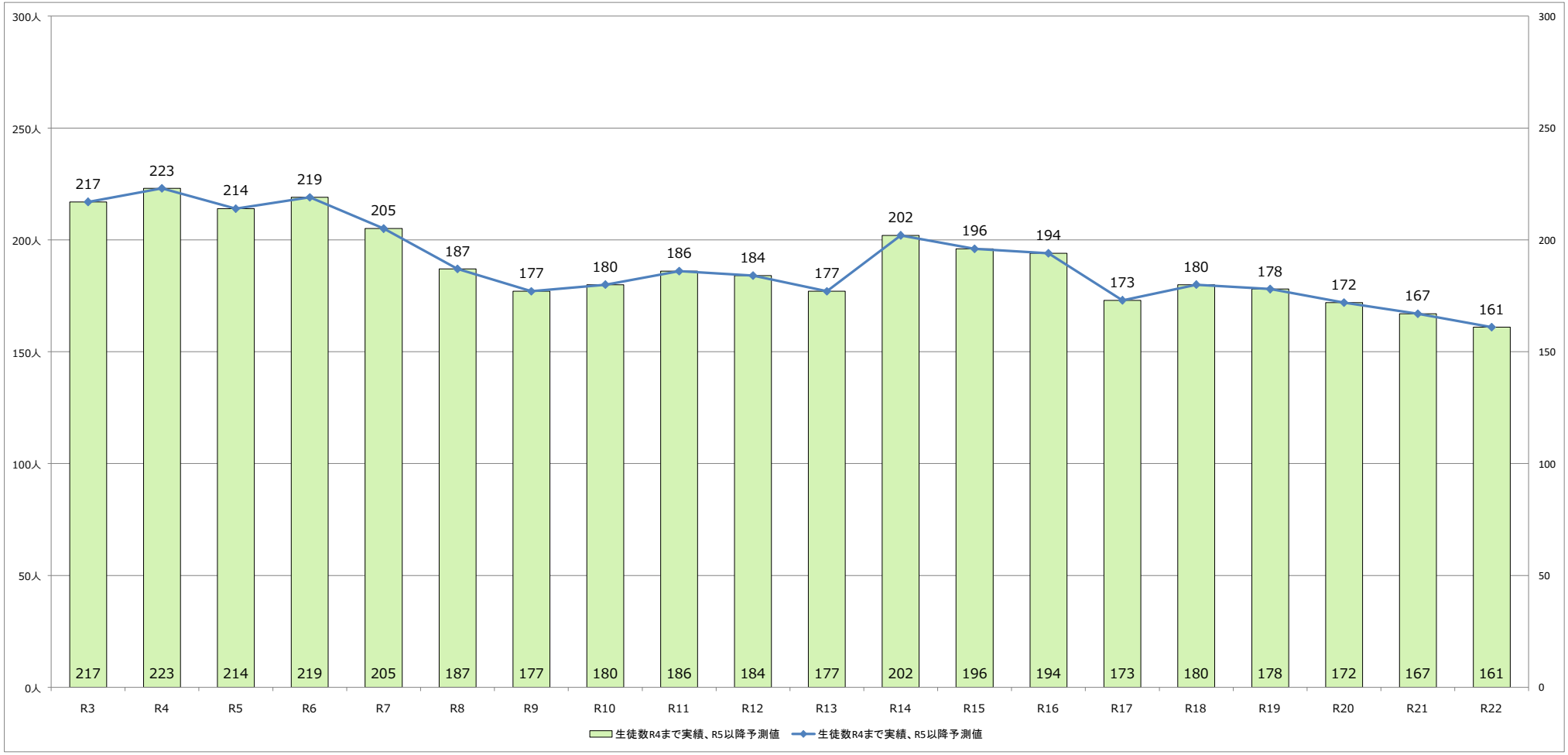


翔陽中（H23．4開校）

R4.5	R3			R4			R5			R6			R7			R8			R9			R10			R11			R12			R13			R14			R15			R16			R17			R18			R19			R20			R21			R22		
	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR
1年	63	3	2	75	5	3	67	2	2	66	4	2	64	2	2	48	3	2	56	4	2	63	6	2	57		2	58		2	62		2	82		3	52		2	60		2	61		2	59		2	58		2	55		2	54		2	52		2
2年	71	8	2	62	3	2	75	5	2	67	2	2	66	4	2	64	2	2	48	3	2	56	4	2	63	6	2	57		2	58		2	62		2	82		3	52		2	60		2	61		2	59		2	58		2	55		2	54		2
3年	71	1	2	70	8	2	62	3	2	75	5	2	67	2	2	66	4	2	64	2	2	48	3	2	56	4	2	63	6	2	57		2	58		2	62		2	82		3	52		2	60		2	61		2	59		2	58		2	55		2
小計	205	12	6	207	16	7	204	10	6	208	11	6	197	8	6	178	9	6	168	9	6	167	13	6	176	10	6	178	6	6	177	0	6	202	0	7	196	0	7	194	0	7	173	0	6	180	0	6	178	0	6	172	0	6	167	0	6	161	0	6
合計	217	【3】		223	【3】		214	【3】		219	【3】		205	【3】		187	【3】		177	【3】		180	【3】		186	【3】		184	【3】		177	【3】		202	【3】		196	【3】		194	【3】		173	【3】		180	【3】		178	【3】		172	【3】		167	【3】		161	【3】	

仮にR7に2年生、R8に3年生まで35人学級が拡大された場合の学級数→→→

	64	2	2	48	3	2	56	4	2	63	6	2	57		2	58		2	62		2	82		3	52		2	60		2	61	0	2	59	0	2	58	0	2	55	0	2	54	0	2	52	0	2
	66	4	2	64	2	2	48	3	2	56	4	2	63	6	2	57		2	58		2	62		2	82		3	52		2	60		2	61		2	59		2	58		2	55		2	54		2
	67	2	2	66	4	2	64	2	2	48	3	2	56	4	2	63	6	2	57		2	58		2	62		2	82		3	52		2	60		2	61		2	59		2	58		2	55		2
			6			6			6			6			6			6			6			7			7			7			6			6			6			6			6			6



東明中

R4.5	R3			R4			R5			R6			R7			R8			R9			R10			R11			R12			R13			R14			R15			R16			R17			R18			R19			R20			R21			R22		
	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR
1年	80	4	3	64	2	2	65	3	2	70	3	2	63	4	2	73	6	3	60	7	2	63	3	2	53		2	59		2	62		2	67		2	70		2	72		3	90		3	99		3	100		3	95		3	89		3	87		3
2年	70	3	2	83	3	3	64	2	2	65	3	2	70	3	2	63	4	2	73	6	2	60	7	2	63	3	2	53		2	59		2	62		2	67		2	70		2	72		2	90		3	99		3	100		3	95		3	89		3
3年	70	2	2	70	4	2	83	3	3	64	2	2	65	3	2	70	3	2	63	4	2	73	6	2	60	7	2	63	3	2	53		2	59		2	62		2	67		2	70		2	72		2	90		3	99		3	100		3	95		3
小計	220	9	7	217	9	7	212	8	7	199	8	6	198	10	6	206	13	7	196	17	6	196	16	6	176	10	6	175	3	6	174	0	6	188	0	6	199	0	6	209	0	7	232	0	7	261	0	8	289	0	9	294	0	9	284	0	9	271	0	9
合計	229		【3】	226		【3】	220		【3】	207		【3】	208		【3】	219		【3】	213		【3】	212		【3】	186		【3】	178		【3】	174		【3】	188		【3】	199		【3】	209		【3】	232		【3】	261		【3】	289		【3】	294		【3】	284		【3】	271		【3】

仮にR7に2年生、R8に3年生まで35人学級が拡大された場合の学級数→→→

| | | |

桜蘭中（H24．4開校）

R4.5	R3			R4			R5			R6			R7			R8			R9			R10			R11			R12			R13			R14			R15			R16			R17			R18			R19			R20			R21			R22		
	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR
1年	179	11	6	170	10	5	173	12	5	200	9	6	200	9	6	172	9	5	169	6	5	166	12	5	199		6	189		6	196		6	194		6	207		6	191		6	191		6	195		6	186		6	180		6	168		5	157		5
2年	185	5	5	182	12	5	170	10	5	173	12	5	200	9	5	200	9	5	172	9	5	169	6	5	166	12	5	199		5	189		5	196		5	194		5	207		6	191		5	191		5	195		5	186		5	180		5	168		5
3年	188	2	5	181	7	5	182	12	5	170	10	5	173	12	5	200	9	5	200	9	5	172	9	5	169	6	5	166	12	5	199		5	189		5	196		5	194		5	207		6	191		5	191		5	195		5	186		5	180		5
小計	552	18	16	533	29	15	525	34	15	543	31	16	573	30	16	572	27	15	541	24	15	507	27	15	534	18	16	554	12	16	584	0	16	579	0	16	597	0	16	592	0	17	589	0	17	577	0	16	572	0	16	561	0	16	534	0	15	505	0	15
合計	570	【3】		562	【5】		559	【5】		574	【5】		603	【5】		599	【5】		565	【5】		534	【5】		552	【5】		566	【5】		584	【5】		579	【5】		597	【5】		592	【5】		589	【5】		577	【5】		572	【5】		561	【5】		534	【5】		505	【5】	

仮にR7に2年生、R8に3年生まで35人学級が拡大された場合の学級数→→→

200	9	6	172	9	5	169	6	5	166	12	5	199	0	6	189	0	6	196	0	6	194	0	6	207	0	6	191	0	6	191	0	6	195	0	6	186	0	6	180	0	6	168	0	5	157	0	5
200	9	6	200	9	6	172	9	5	169	6	5	166	12	5	199		6	189		6	196		6	194		6	207		6	191		6	191		6	195		6	186		6	180		6	168		5
173	12	5	200	9	6	200	9	6	172	9	5	169	6	5	166	12	5	199		6	189		6	196		6	194		6	207		6	191		6	191		6	195		6	186		6	180		6	168		5
		17			17			16			15			16			17			18			18			18			18			18			18			18			18			17			16

港北中

R4.5	R3			R4			R5			R6			R7			R8			R9			R10			R11			R12			R13			R14			R15			R16			R17			R18			R19			R20			R21			R22		
	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR
1年	55	3	2	42	2	2	57	1	2	55	3	2	44	3	2	35	4	1	53	2	2	38	1	1	51		2	46		2	30		1	34		1	28		1	22		1	28		1	27		1	27		1	26		1	26		1	25		1
2年	48	4	2	55	3	2	42	2	2	57	1	2	55	3	2	44	3	2	35	4	1	53	2	2	38	1	1	51		2	46		2	30		1	34		1	28		1	22		1	28		1	27		1	27		1	26		1	26		1
3年	52	0	2	48	3	2	55	3	2	42	2	2	57	1	2	55	3	2	44	3	2	35	4	1	53	2	2	38	1	1	51		2	46		2	30		1	34		1	28		1	22		1	28		1	27		1	27		1	26		1
小計	155	7	6	145	8	6	154	6	6	154	6	6	156	7	6	134	10	5	132	9	5	126	7	4	142	3	5	135	1	5	127	0	5	110	0	4	92	0	3	84	0	3	78	0	3	77	0	3	82	0	3	80	0	3	79	0	3	77	0	3
合計	162	【2】		153	【2】		160	【2】		160	【2】		163	【2】		144	【2】		141	【2】		133	【2】		145	【2】		136	【2】		127	【2】		110	【2】		92	【2】		84	【2】		78	【2】		77	【2】		82	【2】		80	【2】		79	【2】		77	【2】	

仮にR7に2年生、R8に3年生まで35人学級が拡大された場合の学級数→→→

| | | |

本室蘭中

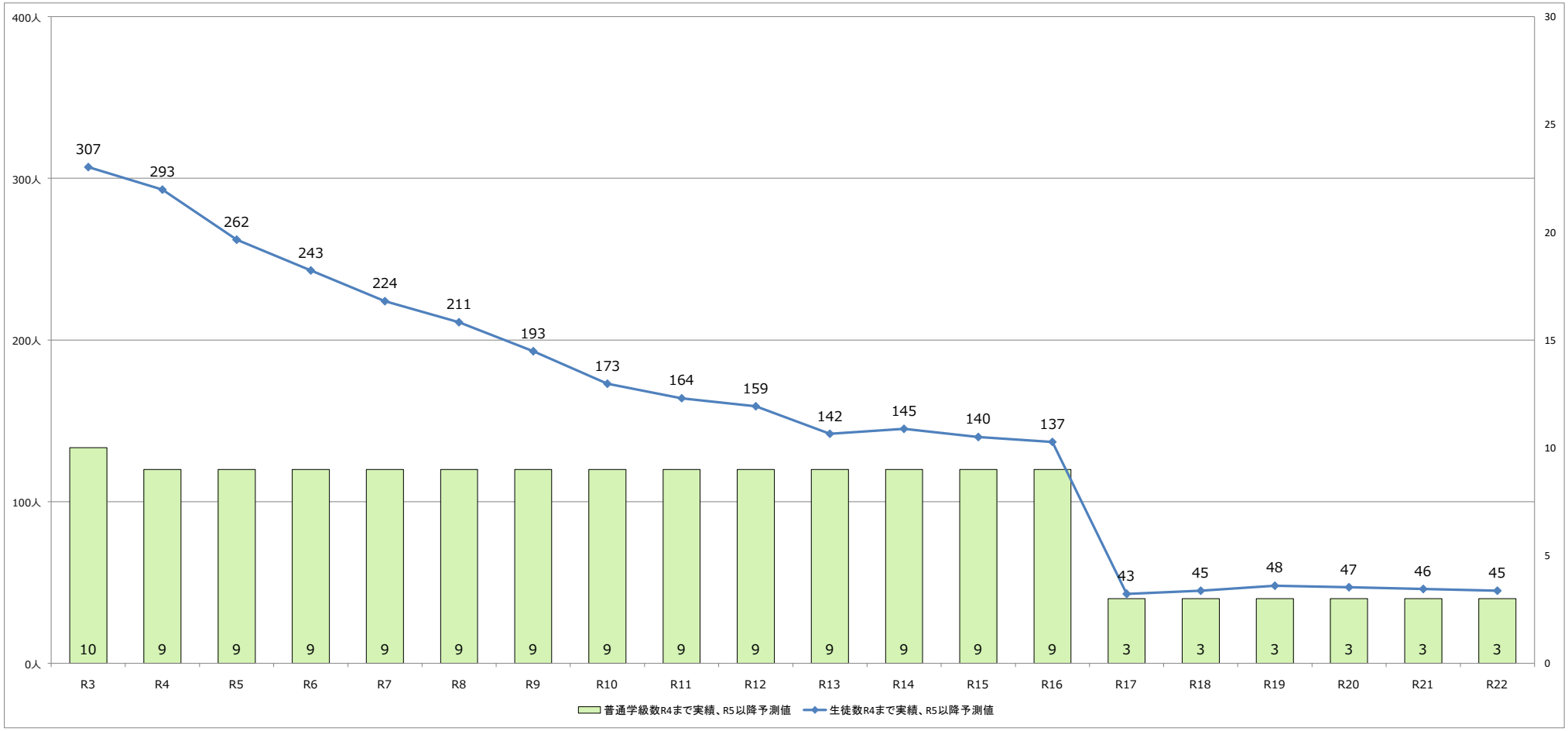
R4.5	R3			R4			R5			R6			R7			R8			R9			R10			R11			R12			R13			R14			R15			R16			R17			R18			R19			R20			R21			R22		
	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR
1年	37	3	1	31	6	1	28	2	1	26	6	1	29	4	1	21	4	1	19	2	1	30	3	1	12		1	20		1	18		1	17		1	14		1	13		1	16		1	16		1	16		1	15		1	15		1	15		1
2年	38	3	1	36	3	1	31	6	1	28	2	1	26	6	1	29	4	1	21	4	1	19	2	1	30	3	1	12		1	20		1	18		1	17		1	14		1	13		1	16		1	16		1	16		1	15		1	15		1
3年	46	4	2	40	3	1	36	3	1	31	6	1	28	2	1	26	6	1	29	4	1	21	4	1	19	2	1	30	3	1	12		1	20		1	18		1	17		1	14		1	13		1	16		1	16		1	16		1	15		1
小計	121	10	4	107	12	3	95	11	3	85	14	3	83	12	3	76	14	3	69	10	3	70	9	3	61	5	3	62	3	3	50	0	3	55	0	3	49	0	3	44	0	3	43	0	3	45	0	3	48	0	3	47	0	3	46	0	3	45	0	3
合計	131		【3】	119		【3】	106		【3】	99		【3】	95		【3】	90		【3】	79		【3】	79		【3】	66		【3】	65		【3】	50		【3】	55		【3】	49		【3】	44		【3】	43		【3】	45		【3】	48		【3】	47		【3】	46		【3】	45		【3】

仮にR7に2年生、R8に3年生まで35人学級が拡大された場合の学級数→→→

| | | |

白蘭＋本室蘭　小中一貫

R4.5	R3			R4			R5			R6			R7			R8			R9			R10			R11			R12			R13			R14			R15			R16			R17			R18			R19			R20			R21			R22		
	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR	普通	特支	CR
1年	18	2	1	30	3	1	12		1	20		1	18		1	17		1	14		1	13		1	16		1	16		1	16		1	15		1	15		1	15		1																				
2年	22	4	1	19	2	1	30	3	1	12		1	20		1	18		1	17		1	14		1	13		1	16		1	16		1	16		1	15		1	15		1																				
3年	30	4	1	21	4	1	19	2	1	30	3	1	12		1	20		1	18		1	17		1	14		1	13		1	16		1	16		1	16		1	15		1																				
4年	24	7	1	29	4	1	21	4	1	19	2	1	30	3	1	12		1	20		1	18		1	17		1	14		1	13		1	16		1	16		1	16		1																				
5年	27	2	1	26	6	1	29	4	1	21	4	1	19	2	1	30	3	1	12		1	20		1	18		1	17		1	14		1	13		1	16		1	16		1																				
6年	30	6	1	28	2	1	26	6	1	29	4	1	21	4	1	19	2	1	30	3	1	12		1	20		1	18		1	17		1	14		1	13		1	16		1																				
1年	37	3	1	31	6	1	28	2	1	26	6	1	29	4	1	21	4	1	19	2	1	30	3	1	12		1	20		1	18		1	17		1	14		1	13		1	16		1	16		1	16		1	15		1	15		1	15		1
2年	38	3	1	36	3	1	31	6	1	28	2	1	26	6	1	29	4	1	21	4	1	19	2	1	30	3	1	12		1	20		1	18		1	17		1	14		1	13		1	16		1	16		1	16		1	15		1	15		1
3年	46	4	2	40	3	1	36	3	1	31	6	1	28	2	1	26	6	1	29	4	1	21	4	1	19	2	1	30	3	1	12		1	20		1	18		1	17		1	14		1	13		1	16		1	16		1	16		1	15		1
小計	272	35	10	260	33	9	232	30	9	216	27	9	203	21	9	192	19	9	180	13	9	164	9	9	159	5	9	156	3	9	142	0	9	145	0	9	140	0	9	137	0	9	43	0	3	45	0	3	48	0	3	47	0	3	46	0	3	45	0	3
合計	307	10		293	(7)		262	(7)		243	(7)		224	(7)		211	(7)		193	(7)		173	(7)		164	(7)		159	(7)		142	(7)		145	(7)		140	(7)		137	(7)		43	(7)		45	(7)		48	(7)		47	(7)		46	(7)		45	(7)	



令和16年度までの、各小中学校の児童生徒数の推計値

年度	白蘭小	学級数
R4年度	153	6
R5年度	137	6
R6年度	131	6
R7年度	120	6
R8年度	116	6
R9年度	111	6
R10年度	94	6
R11年度	98	6
R12年度	94	6
R13年度	92	6
R14年度	90	6
R15年度	91	6
R16年度	93	6

年度	本室蘭中	学級数
R4年度	107	3
R5年度	95	3
R6年度	85	3
R7年度	83	3
R8年度	76	3
R9年度	69	3
R10年度	70	3
R11年度	61	3
R12年度	62	3
R13年度	50	3
R14年度	55	3
R15年度	49	3
R16年度	44	3

年度	港北中	学級数
R4年度	145	6
R5年度	154	6
R6年度	154	6
R7年度	156	6
R8年度	134	5
R9年度	132	5
R10年度	126	4
R11年度	142	5
R12年度	135	5
R13年度	127	5
R14年度	110	4
R15年度	92	3
R16年度	84	3

年度	蘭北小	学級数
R4年度	282	11
R5年度	276	11
R6年度	267	11
R7年度	253	10
R8年度	252	10
R9年度	227	9
R10年度	211	8
R11年度	188	7
R12年度	169	6
R13年度	166	6
R14年度	158	6
R15年度	156	6
R16年度	159	6

年度	八丁平小	学級数
R4年度	570	18
R5年度	590	18
R6年度	586	19
R7年度	595	20
R8年度	591	20
R9年度	627	21
R10年度	638	21
R11年度	636	21
R12年度	627	20
R13年度	610	19
R14年度	607	19
R15年度	570	18
R16年度	541	18

年度	桜蘭中	学級数
R4年度	533	15
R5年度	525	15
R6年度	543	16
R7年度	573	16
R8年度	572	15
R9年度	541	15
R10年度	507	15
R11年度	534	16
R12年度	554	16
R13年度	584	16
R14年度	579	16
R15年度	597	16
R16年度	592	17

年度	天神小	学級数
R4年度	394	13
R5年度	382	13
R6年度	371	13
R7年度	370	13
R8年度	364	12
R9年度	374	12
R10年度	383	13
R11年度	420	14
R12年度	460	15
R13年度	498	16
R14年度	526	17
R15年度	545	18
R16年度	560	18

年度	東明中	学級数
R4年度	217	7
R5年度	212	7
R6年度	199	6
R7年度	198	6
R8年度	206	7
R9年度	196	6
R10年度	196	6
R11年度	176	6
R12年度	175	6
R13年度	174	6
R14年度	188	6
R15年度	199	6
R16年度	209	7

年度	旭ヶ丘小	学級数
R4年度	510	18
R5年度	516	18
R6年度	509	18
R7年度	496	18
R8年度	522	18
R9年度	524	18
R10年度	538	18
R11年度	532	18
R12年度	547	18
R13年度	554	18
R14年度	543	18
R15年度	541	18
R16年度	536	18

年度	海陽小	学級数
R4年度	364	12
R5年度	354	12
R6年度	346	12
R7年度	344	12
R8年度	378	13
R9年度	374	13
R10年度	371	13
R11年度	375	13
R12年度	376	13
R13年度	372	13
R14年度	345	12
R15年度	347	12
R16年度	339	12

年度	翔陽中	学級数
R4年度	207	7
R5年度	204	6
R6年度	208	6
R7年度	197	6
R8年度	178	6
R9年度	168	6
R10年度	167	6
R11年度	176	6
R12年度	178	6
R13年度	177	6
R14年度	202	7
R15年度	196	7
R16年度	194	7

年度	みなと小	学級数
R4年度	432	13
R5年度	426	14
R6年度	429	15
R7年度	398	14
R8年度	387	14
R9年度	370	14
R10年度	351	14
R11年度	338	13
R12年度	323	12
R13年度	332	12
R14年度	332	12
R15年度	339	12
R16年度	342	12

年度	室蘭西中	学級数
R4年度	208	6
R5年度	215	7
R6年度	217	7
R7年度	230	7
R8年度	218	6
R9年度	212	6
R10年度	202	6
R11年度	208	7
R12年度	217	7
R13年度	196	6
R14年度	179	6
R15年度	153	6
R16年度	155	6

年度	星蘭中	学級数
R4年度	115	4
R5年度	120	4
R6年度	111	3
R7年度	100	3
R8年度	97	3
R9年度	92	3
R10年度	90	3
R11年度	99	4
R12年度	91	4
R13年度	93	4
R14年度	69	3
R15年度	71	3
R16年度	62	3

年度	地球岬小	学級数
R4年度	190	6
R5年度	196	7
R6年度	183	7
R7年度	183	7
R8年度	168	7
R9年度	162	7
R10年度	155	7
R11年度	134	6
R12年度	135	6
R13年度	129	6
R14年度	130	6
R15年度	127	6
R16年度	128	6

●それぞれの考え方の比較（メリット・デメリットなど）

	これまでの適正配置の考え方 （適正規模を目指す統廃合）	新しい考え方 （義務教育学校など）	現状維持の考え方 （現小中学校の枠組を維持）	柔軟な考え方 （考え方の複合）
学校運営	・多人数による学校運営が可能 ・児童生徒数減少の場合に更に統廃合が必要 ・中学校では桜蘭中以外は、適正規模維持（１学年４学級以上）は困難	・ある程度の児童生徒数減少に対応可能 ・複式学級まで減少した場合に学校運営が困難（特色ある学校運営は可能）	・少人数の場合には、特色ある学校運営が可能 ・児童生徒数の減少状況により、教育活動が困難。部活動数も縮小。	・市内でも将来を含む児童生徒数は、地域によってまちまちであることから、１つの考え方に限定せずに、様々な考え方を持つことにより、その時々の状況に応じて、子どもたちにとってベストな選択が可能となる。
教員配置	・加配の要請など、これまでと同様の教員確保の取組を継続	・校長１名で教員配置が増加 ・原則小中免許併有のため教員確保対策が必要（特例有）	・少人数の場合に教員数も減少 ・校長・教頭が授業担当など。 ・免許外の教科指導が発生。	
教員の働き方	・義務教育学校との比較では、教員１人が担当する授業時数は多い。	・教員の配置数が多くなり、小中の乗り入れ授業等により、教員１人が担当する授業時数が減少	・児童生徒数の減少により、教員１人が担当する授業時数は増加	
教職員の連携	・小中連携により定期的に情報共有に努めるが限界がある。 ・小中それぞれの校長の経営方針があり、連携には限界がある。	・同じ校舎、１つの職員室の場合に情報共有・共通認識・共通行動が実現可能。 ・校長のリーダーシップは発揮しやすい。	・現状の小中連携により定期的に情報共有に努めるが、教員数の減少により、連携が希薄化する恐れがある。	
英語等の教育	・小中連携によるが、授業時数に余裕がないと英語等の乗り入れ授業は難しい。	・小中教員の乗り入れ授業により、義務教育の早期から英語教育等に力を入れられる。	・小中連携によるが、教員数の減少により英語等の乗り入れ授業は難しい。	・市内どこにいても、同じ教育環境を維持することが理想であるが、地域ごとに、異なる学校運営になり、場合によっては、地域間の格差につながる可能性はある。
教科担任制	・小学校の高学年まで ・教員不足、自由度は低い。	・小学校の低学年まで可能 ・学校ごとに自由度が高い	・少人数の場合は、教員不足、自由度は低い。	
学力向上	・小中での学習接続が不十分な面もある。 ・競争原理が働く	・９年間を見通した学習、複数指導・専門性の高い指導が可能 ・競争原理が働かない可能性（少人数の場合）	・少人数の場合は、状況により丁寧な授業が可能 ・競争原理は人数による。	
不登校対策	・これまでの対策を継続 ・中１ギャップは別途対策	・中１ギャップの軽減 ・それを原因とする不登校減少	・少人数の場合には、きめ細やかな対応可能 ・中１ギャップは別途対策	・学校形態により、保護者が学校を選択することにつながり、人気のない地域の少子化が加速したり、人気のある地域の学校施設が手狭になったりする可能性はある。
いじめ	・これまでの対策を継続 ・定期的なクラス替により、いじめ解消が期待できる。	・全世代の教職員が１年生から９年生まで見ることで多くの気づきが期待できる。 ・クラス替ができない場合に問題解決が困難な場合も。	・少人数の場合には、きめ細やかな対応可能 ・クラス替ができない場合に問題解決が難しいケースも想定される。	
人間関係力 ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ力	・人数が多い中での役割分担など、協調性、社会性の向上が期待できる。 ・小学６年生は最高学年として自覚を持ち、中学校進学で環境が大きく変わることにより対応力が培われる。 ・一方で、小学校から中学校へのギャップにより適応できない生徒がいる。 ・高校進学時も同じ中学の生徒多く、関係性構築しやすい。	・低学年の世話などにより精神的な発達が期待できる。 ・生徒会や多年代交流により協働力、社会参画力の向上が期待できる。 ・小学６年生の年代のリーダー性の育成が難しい。 ・８・９年生が学校全体の上級生として負担感を抱く。 ・クラス替えができないことで人間関係の固定化 ・少人数の場合には、高校進学時に生徒の多さに馴染めないケースも。	・少人数の場合には、人間関係が固定化 ・多人数の場合には、役割分担など、協調性、社会性の向上が期待できる。 ・小学６年生は最高学年として自覚を持ち、中学校進学で環境が大きく変わることにより対応力が培われる。 ・一方で、小学校から中学校へのギャップにより適応できない生徒がいる。	

●それぞれの考え方の比較（メリット・デメリットなど）

	これまでの適正配置の考え方 （適正規模を目指す統廃合）	新しい考え方 （義務教育学校など）	現状維持の考え方 （現小中学校の枠組を維持）	柔軟な考え方 （考え方の複合）
自尊感情	・大人数の中で１人１人の役割は小さくなりがち ・教員の力量による側面が強くなる。	・多学年相互交流などの役割等により、自分の居場所が明確となり自尊感情の醸成につながる。	・少人数の場合、役割や居場所を作りやすく、自尊感情の醸成につながる。	
部活動	・生徒数が多く、団体競技、吹奏楽など、単独で多くの種類で実施可能	・少人数の場合に、団体競技、吹奏楽など、単独での実施は難しい。 ・小学校教諭も部活動に参加が可能 ・小学校高学年も部活動参加が可能	・少人数の場合、多人数の場合により、左記を参照	・学校の枠を超えたいわゆる合同部活実施の可能性
地域との関係	・校区が広くなると、地域との関係性が希薄になる。 ・学校からの距離が遠くなることで、相互の顔が見えない状況となり協力関係が薄れる。 ・コミュニティスクールの枠組と地域との連動が難しくなる。	・地域ごとに学校を配置することが可能となる。 ・地域、保護者が学校をサポートする関わりが持ちやすい。 ・学校、保護者、地域で目指す児童生徒像など目標の共有等が可能。 ・コミュニティスクールの枠組みによる取組を推進しやすい	・いままでの地域との関係性を維持することができる。 ・中学校区でのコミュニティスクールの枠組みによる取組を推進しやすい。 ・小中で、目指す目標を共通化が難しい。	
実現に向けて	・学校が遠くなる地域や、地域に学校がなくなることについて、地域、保護者の理解を得るのが難しい。	・同じ地域の小学校と中学校の義務教育学校の場合には、地域、保護者の理解が得られやすい。	・現在の学校を維持するためのコストが他より多額になる。（効率化できない）	
学校施設整備について	・小学校、中学校での統合の場合に、既存の学校を使用するか、新築するか検討が必要。 ・新築の場合には、費用が増大する。	・教室数が小学校の方が多いため、既存の小学校の校舎に中学校が入るイメージ。 ・特別教室（技術室等）の整備、体育館の増築などが考えられる。	・現在の学校を維持しながら、児童生徒数減少への対応など長期的なコストが増大 ・不要スペース（空き教室等）への対応コスト	
転入転出	・教育課程の進度は、どの地域でも概ね学年ごとに同じであるため、転入転出時の影響が少ない。	・義務教育学校の場合に、教育課程の進度の前倒しなどが可能となり、転入転出時に履修範囲の違いによる影響が考えられる。	・教育課程の進度は、どの地域でも概ね学年ごとに同じであるため、転入転出時の影響が少ない。	
ＰＴＡ組織	・小中別組織のため、交流することが難しい。 ・合同イベント等も、どちらかの組織に偏りがちになる。 ・役員の固定化を避けられる。	・組織の１本化で９年間を見通した組織とし、異学年の保護者交流も図られる。 ・長期にわたって役員が固定化する可能性があり、役員交代のルールづくりが必要。	・小中別組織のため、交流することが難しい。 ・合同イベント等も、どちらかの組織に偏りがちになる。 ・役員の固定化を避けられる。	

これからの学校づくり検討委員会の経過と白鳥台地区の学校教育について

ふるさと室蘭への愛着と誇り

ふるさと室蘭で共に生きる

室蘭が好き。みんなで創る。住み続けたいまち

Muroran

室蘭市教育委員会教育指導参事
髙　田　裕　之

＝　本日の内容　＝

１　学校づくり検討委員会より

（１）室蘭の学校教育の課題と
　　その解決策

（２）最終報告

２　白鳥台地区の
　　学校教育について

１　これからの学校づくり検討委員会より

・室蘭の学校教育の課題とその解決策

・最終報告

本市の子どもたちの
4つの課題

1 「自分にはよいところがある」と回答する子どもが少ない。

2 ふるさと室蘭に、愛着を持つ子どもが少ない。

３　不登校出現率が、全国に比べて高い。

４　いじめ発生率は、全国と比べ高くはないものの、発生している。

これらを解決するために

「これからの学校教育」

に、求められているものは

【1】 校区の小学校と中学校が、より強く連携した（一体となった）教育が必要である。

【2】 家庭・地域が参画して、学校とより強く連携した（一体となった）教育が必要である。

室蘭市すべての小学校・中学校で行う

小中9年間の一体となった教育

コミュニティ・スクールの機能発揮、活性化

地域にある学校を支える組織

自分には、良い所があると自信を持って言えて、

室蘭市教育施策の大綱　教育目標

「一人ひとりが夢を持ち、新たな時代に挑戦する力、生きる力を育む」

学校課題を解決するために小中学校が行うもの

- 小中一体の教育　学力の一層の向上
- 小中一体の教育　不登校児童生徒在籍率の減少
- 小中一体の教育　人の役に立つ人間になりたい　増加
- 小中一体の教育　いじめは絶対に許されない
- 小中一体の教育　自分には良いところがある　増加
- 小中一体の教育　室蘭（地域）が好きだ　増加

家庭・地域が参画し、学校と一体となって行うもの

- 1　〇〇校区　コミュニティ・スクール
- 2　〇〇校区　コミュニティ・スクール
- 3　〇〇校区　コミュニティ・スクール
- 4　〇〇校区　コミュニティ・スクール
- 5　〇〇校区　コミュニティ・スクール
- 6　〇〇校区　コミュニティ・スクール
- 7　〇〇校区　コミュニティ・スクール

室蘭市学校教育の土台として行うもの

Ⅰ　ふるさと室蘭に、愛着と誇りを持つ教育
Ⅱ　ふるさと室蘭で、共に生きる教育

・室蘭が好き
・室蘭で頑張りたい、輝きたい
・室蘭に住み続けたい

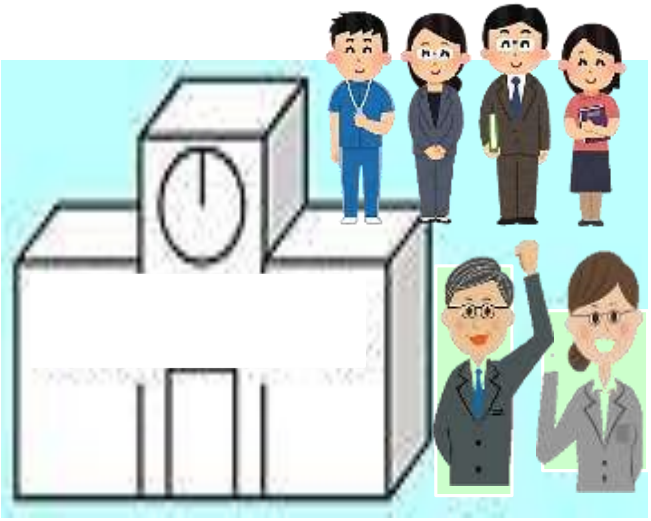
どんな学校の形でも、「小中が一体となった教育」に取り組みます。

１　施設一体型

小学生・中学生が、同じ１つの校舎で学びます。

１つの職員室・組織で、運営します。

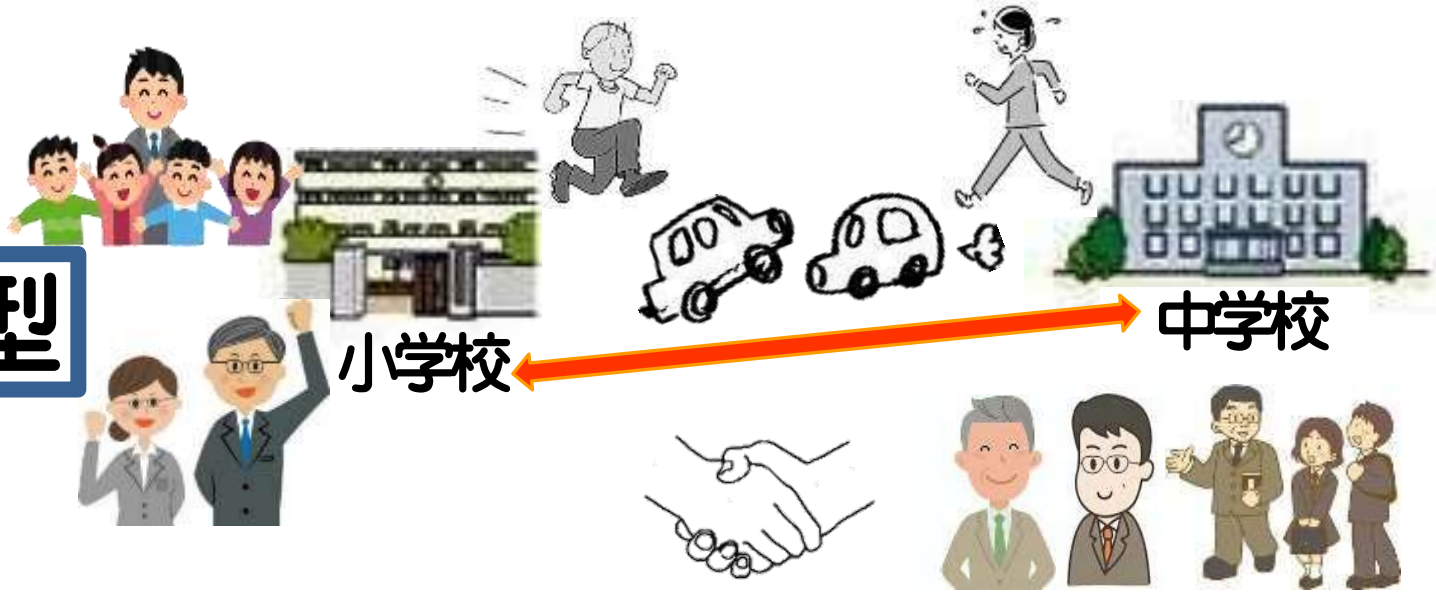
小学生



中学生

２隣接型

３分離型



めざす子ども像へ、９年間を見通した
学びのつながりを推進します。

これからの学校づくり検討委員会
最終報告

白鳥台地区は、本室蘭中学校と白蘭小学校を一つにした「義務教育学校」の検討を進めるとよい。

２　白鳥台地区の
学校教育について

最終報告の他にも

１　現状のまま

２　他地区との統合

（１）小・中学校、それぞれ統合

（２）小学校のみ統合

（３）中学校のみ統合

という選択肢がございます。

私ども
教育委員会としましては

さきほどの最終報告に基づき

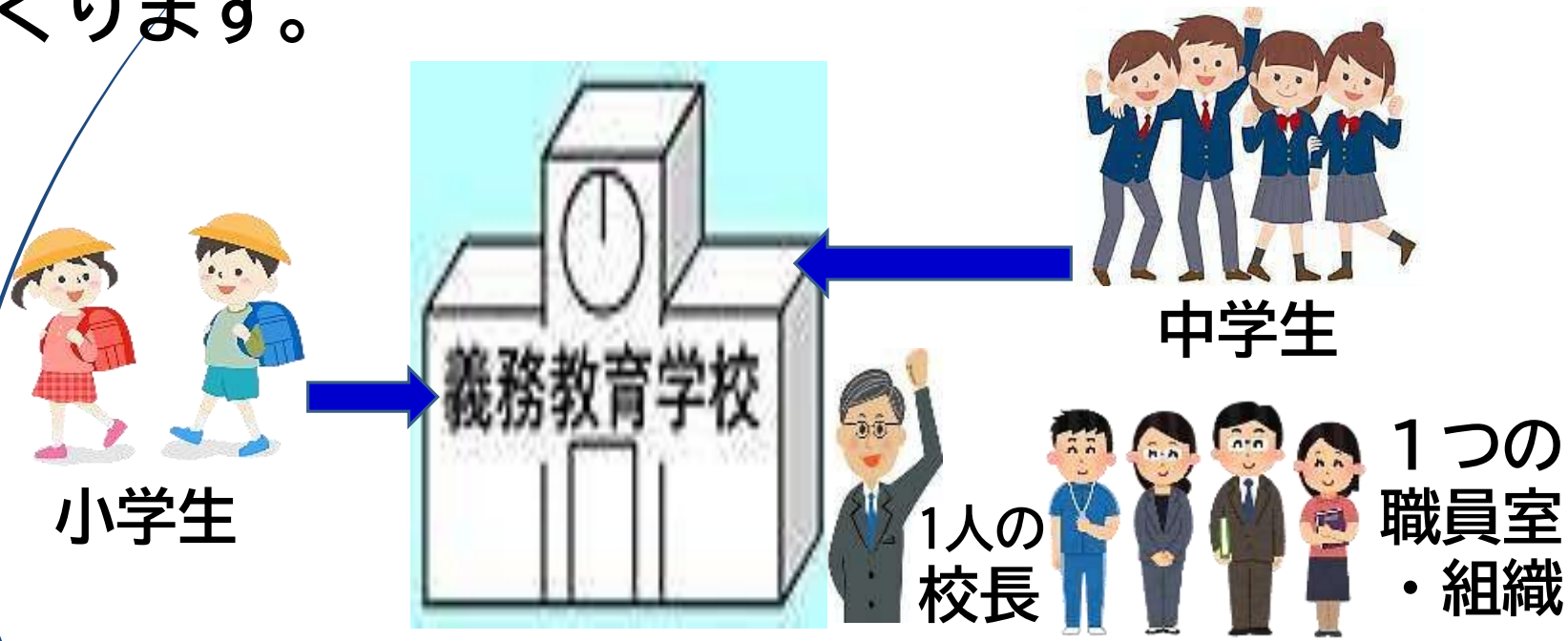
「義務教育学校」が

適していると考えています。

義務教育学校とは

小学生と中学生が、同じ校舎で学びます。

１つの職員室・組織で、「目指す子ども像」へ向け
９年間を見通して、子どもの学びのつながりをつくります。



１例として
大沼岳陽学校（七飯町）

沿　革

令和2年度 ４月開校

１　大沼小学校
２　軍川小学校
３　東大沼小学校
４　大沼中学校

3つの小学校、1つの中学校が一緒になった学校です。

学校の概要

児童・生徒数

令和3年(2021年)5月1日現在

1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	合計
9	9	14	11	15	13	14	15	18	118

職員数

30 名（校長含む）

校訓

世界に輝け！

義務教育学校の先生について

国の制度により

- 先生を２名増やすことができる。

- 先生は、原則、小学校・中学校両方の免許を持っています。

先生2名増、小中の免許があることで

	国語	社会	算数	理科	音楽	図美	体育	家技	英語	書写
1年					☆	☆	☆		◎3	☆
2年					☆	☆	☆		◎3	☆
3年				☆	☆	☆	☆		◎2	☆
4年	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆		◎2	☆
5年	☆	☆	◎2	☆	☆	☆	☆	☆	◎2	☆
6年	☆	☆	◎2	☆	☆	☆	☆	☆	◎2	☆
7年	☆	☆	◎2	☆	☆	☆	☆	☆	◎2	☆
8年	☆	☆	◎2	☆	☆	☆	☆	☆	◎2	☆
9年	☆	☆	◎2	☆	☆	☆	☆	☆	◎2	☆

「☆」専門性が高い先生の指導　「◎２」２名指導　「◎３」３名指導

義務教育学校
１０のよさ

七飯町立大沼岳陽学校
楢　山　　聡　校長先生
（前校長・令和２～３年度）

1　縦割り班で活動できる。

・全学年が入る班で、清掃や行事に取り組み、互いに理解を深めている。

・特に、７～９年生は
低学年へのやさしさがうかがえる。

2　「義務教育のゴール」を目の当たりにできる。

・高学年の授業や生徒を見て日常から「高学年は立派でみんなもこうなるんだよ」と指導できている。

３　子どもを見守る目が多い。

・一人一人の子どもを
知り尽くす余裕がある。

・義務教育学校の制度による
教員増は有利である。

４　中１ギャップが和らぐ。

・小学校から中学校への大きな変化が軽減

５　９年生は憧れである。

・低学年は、９年生を見て育っている。

６　役割と居場所を見つけやすい。

・幅広い年齢で生活する貴重な経験

７　好影響が、見られる。

・落ち着いた挨拶や廊下の歩き方
・上級生の落ち着きが、少しずつ
　下の学年に伝わっている。

８ 小学校・中学校の先生方が共存

・２名先生が増え、時間的･精神的なゆとりが生じている。

・授業が、子どもや保護者に好評。

・よい指導法が､先生方に共有されていく。他の先生の授業を観て学べる。

9　勢いが出ている

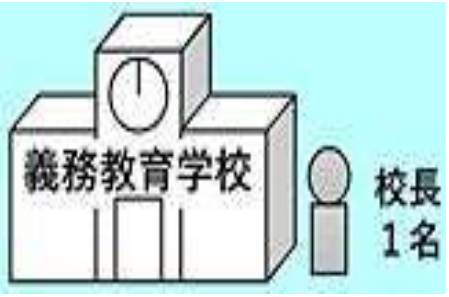
- 学校に**活気**が出てよみがえった。
- 大きい子が、小さい子の**面倒**を見る。
  やさしさが、**温**かなまなざしに表れている。
- 先生方が、互いに**学**び、**高**め合っている。

10 地域に学校がある

地域とともに学校を共創。

地域に子どもたちの姿や声がある。

施設一体型・義務教育学校
大沼岳陽学校のよさとは



子どもたちの声

1　学校生活

- 先生方が見てくれる。いじめがない。
- 学校は小さいが、全体の仲がよい。
- 「憧れの姿」になろうと思う。
- ５年生から部活動ができる。
- 小学生の頃の先生がいて安心できる。

2　行事、授業

- 上級生が、声をかけてくれる。
- 多くの人と交流、新たな気づきがある。
- 上級生がお手本となっている。

- いろいろな先生に、教えてもらえる。
- 相談、質問がしやすくなった。
- 英語の勉強が楽しい。
- 小学生を見て、昔の自分を思い出す。

ご静聴
ありがとうございました。